

第2次袋井市総合計画 「後期基本計画」策定に向けた 市民意識調査の結果概要

令和元年11月

(企画財政部 企画政策課 企画係)

○市民意識調査の概要

1 調査の目的

第2次袋井市総合計画「後期基本計画（令和3～7年度）」の策定に向けた基礎資料として活用するため、市民の思いや考え方、ニーズ等を把握することを目的として、次のとおりアンケート調査を実施した。

- (1) 市民の属性（性別・年齢・居住地区など）
- (2) 市民の暮らしの状況（居住期間・住みやすさ・地域の絆や支えあいの仕組みなど）
- (3) 主観的価値観・社会状況の認識
（幸福度・コミュニティへの所属・情報取得方法・人生100年時代
やSociety 5.0社会等のイメージなど）
- (4) 本市への思い・考え方（本市にあったら良いと思うもの、本市の魅力など）

2 調査対象

市内在住の18歳以上の方（3,000人）

3 調査期間

- (1) 調査票発送日 令和元年7月31日（水）
- (2) 調査回答期限 令和元年8月14日（水）※回答期間は2週間

4 調査方法

郵送及びオンラインによる回答

5 回収状況

- (1) 配布数 3,000件
- (2) 有効回収数 1,147件
- (3) 有効回収率 38.2%

6 調査結果の表示方法

- (1) グラフに表示されているN値は有効回答数を示す。
- (2) 集計結果の%表示は小数点以下第2位を四捨五入しているため、集計内訳の合計が100.0%にならない場合がある。複数回答が可能な設問も同様。
- (3) クロス集計※の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがある。
また、クロス集計は該当サンプル数が少ない属性層があるため、その部分では十分な精度を持たない場合があることに注意を要する。

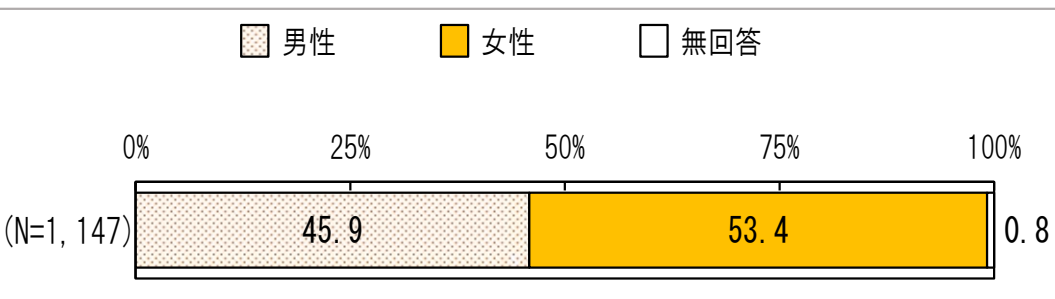
※クロス集計 … 複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法。

市民意識調査の結果について

○市民の属性

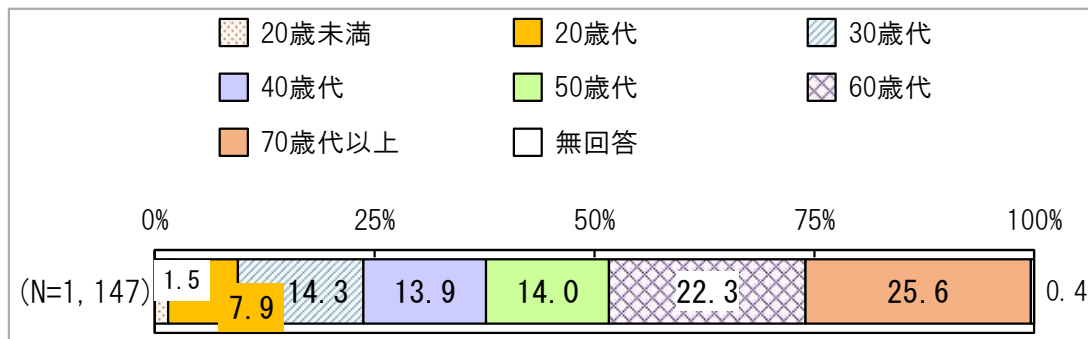
①回答者の性別

女性の方がやや多い



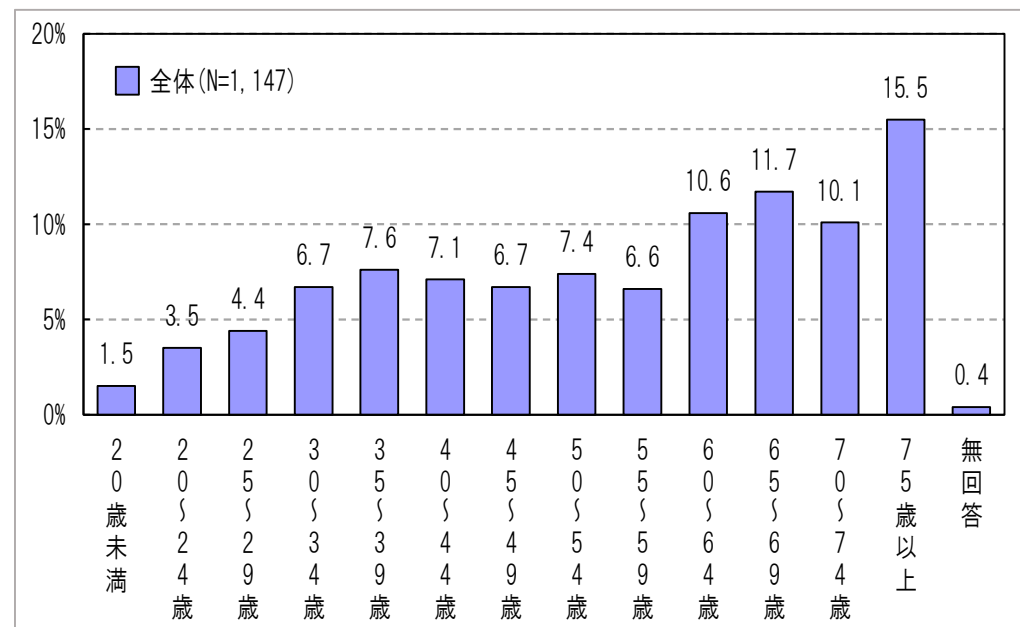
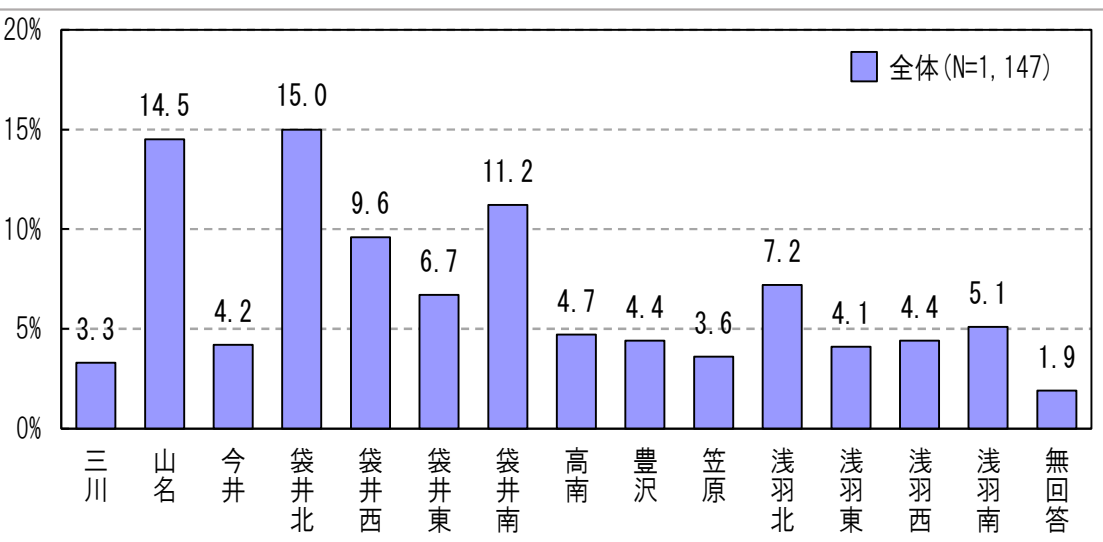
②回答者の年齢

70歳代が最多、次いで60歳代が多い



③回答者の住居地

人口の多い袋井北、山名、袋井南の各地区が多い

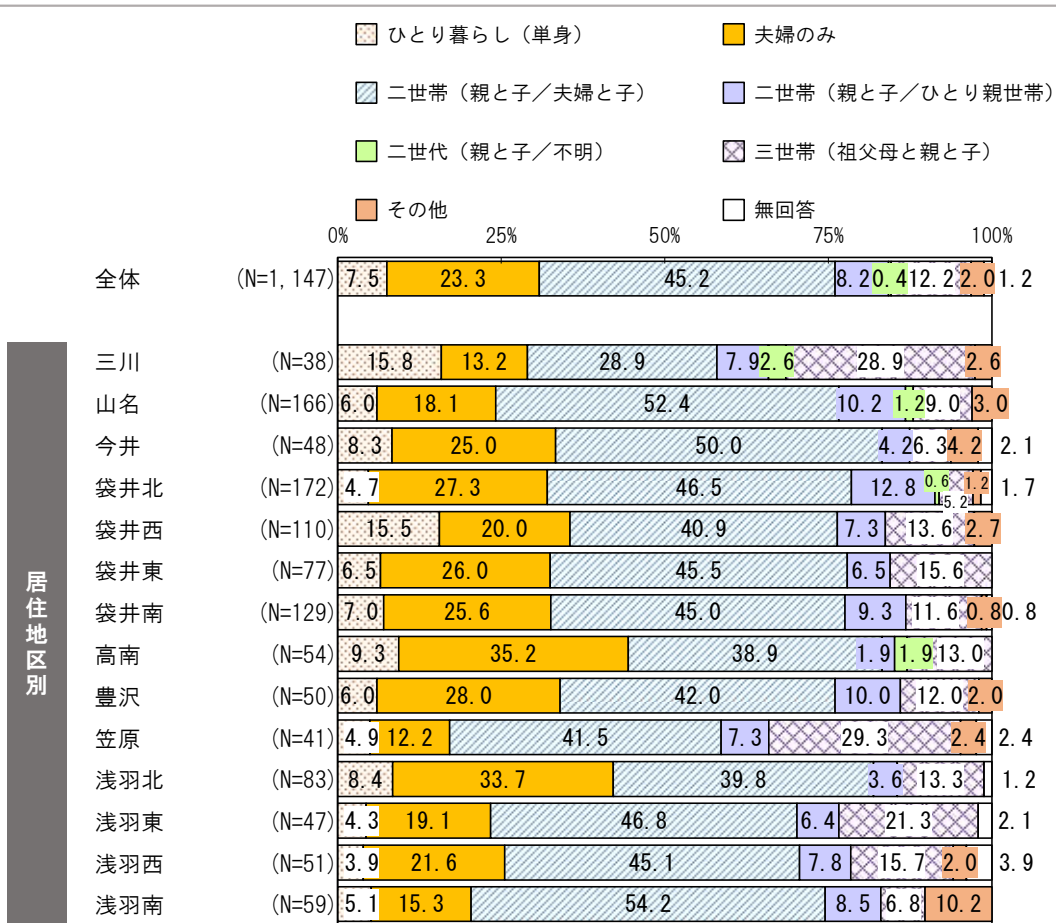
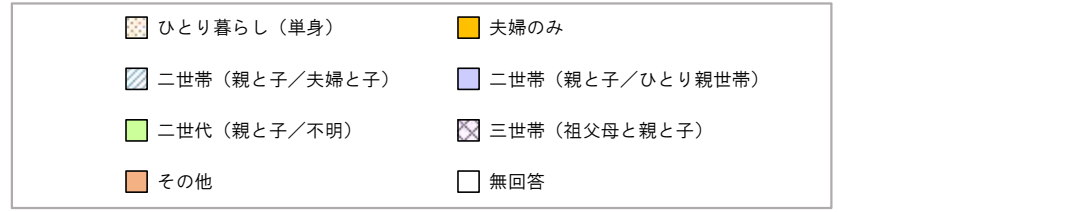
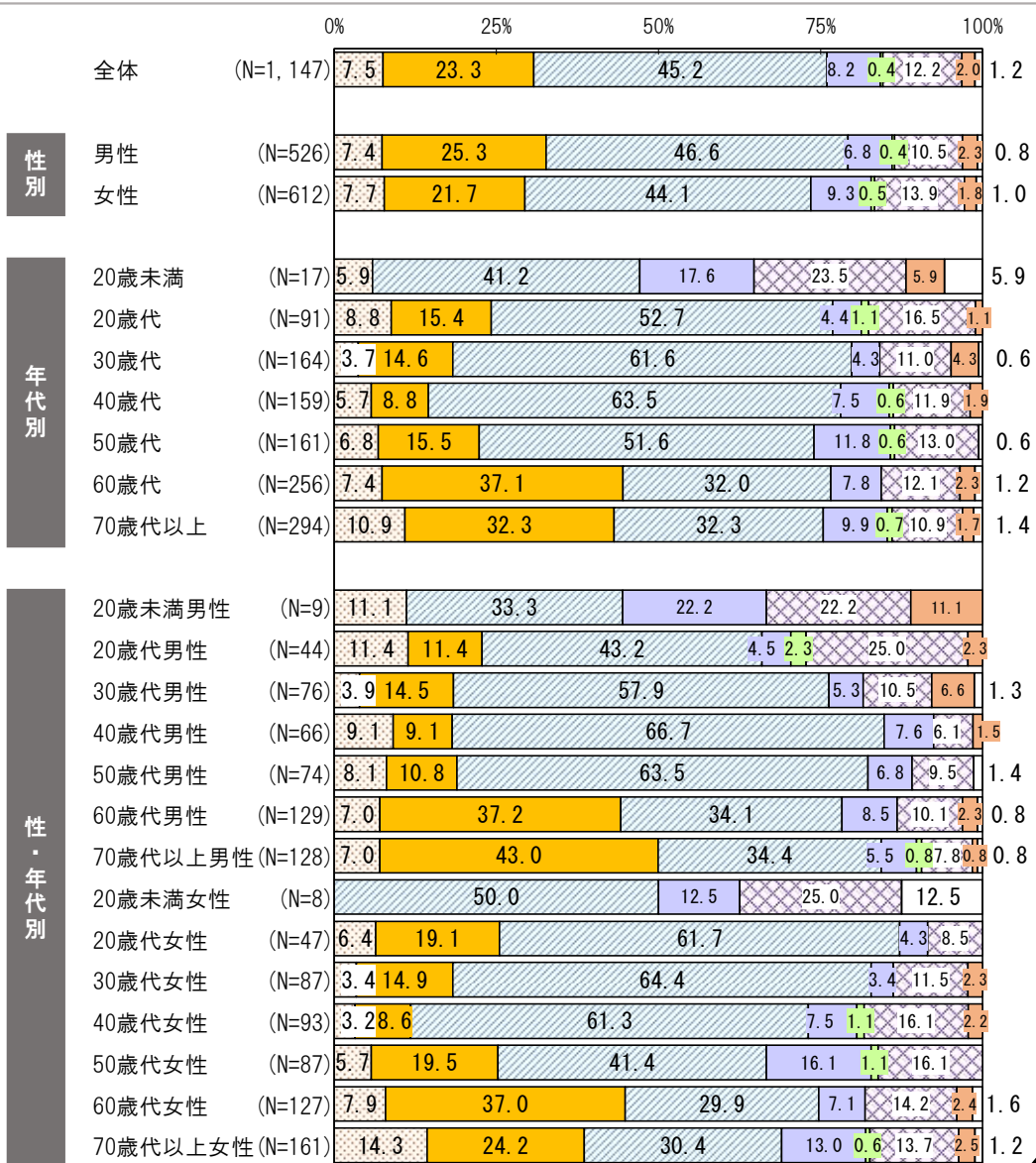


市民意識調査の結果について

○市民の属性

④回答者の家族構成

二世帯が（親と子／夫婦と子）が最多、次いで夫婦のみが多い。また、60歳代以上になると夫婦のみが大きく増加

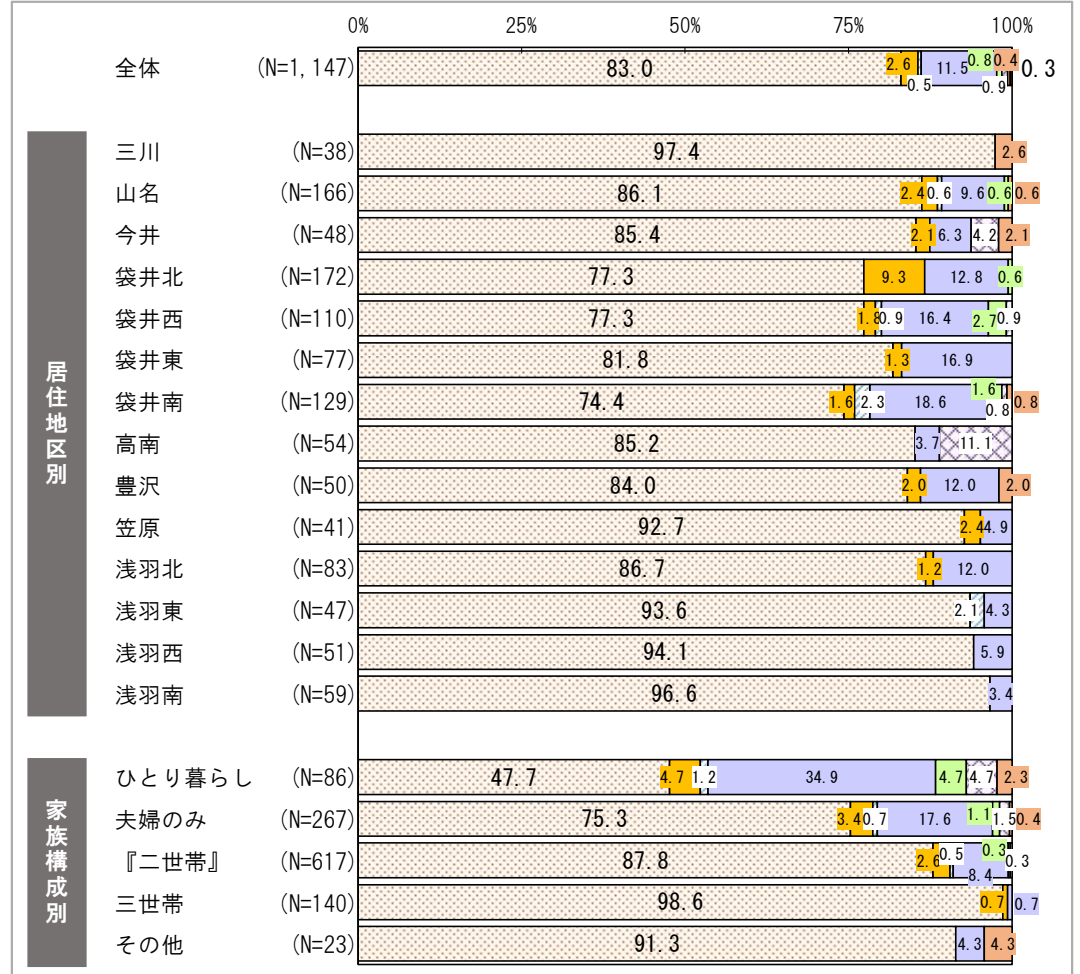
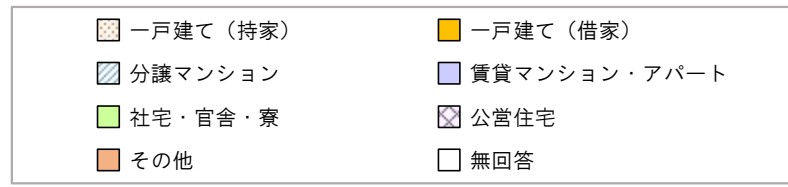
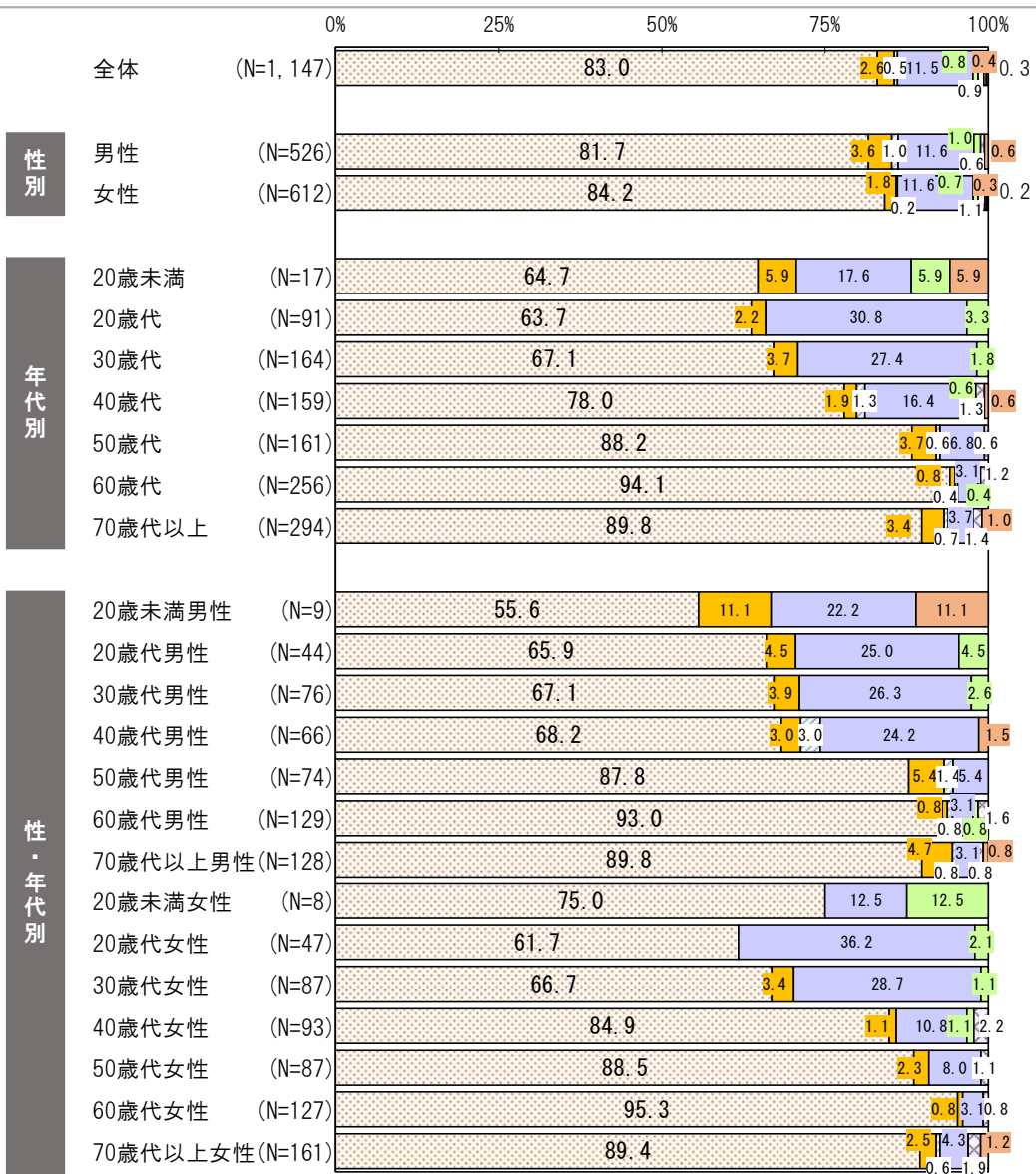


市民意識調査の結果について

○市民の属性

⑤住宅の種類

持ち家は男性が50歳代から、女性が40歳代から大きく増加、ひとり暮らしは他の家族構成と比べて賃貸住まいが多い

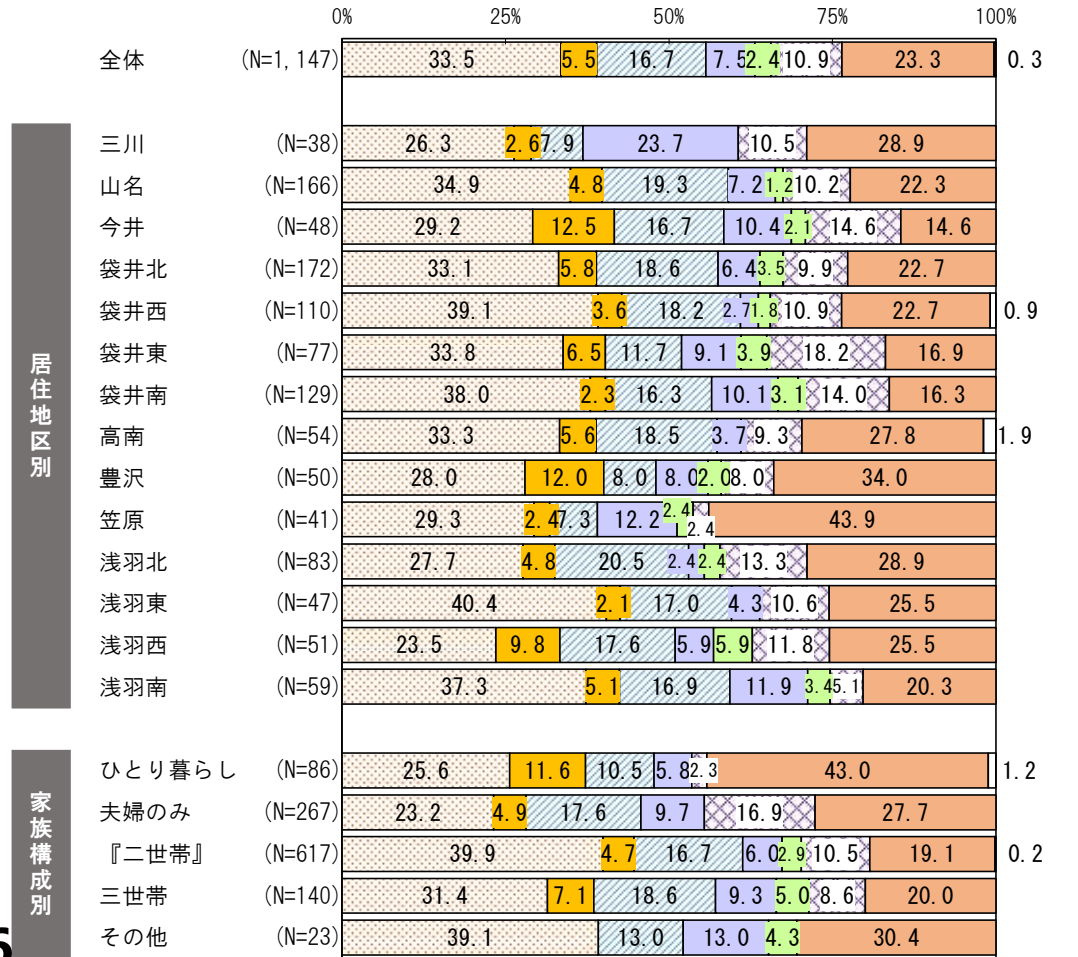
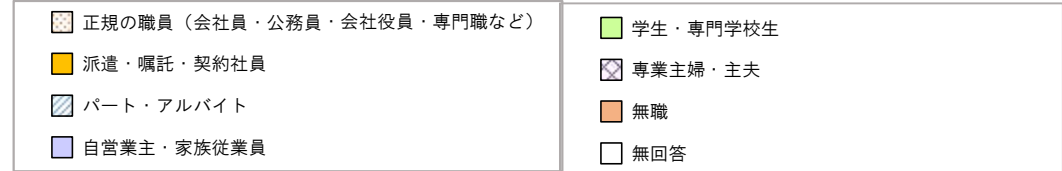
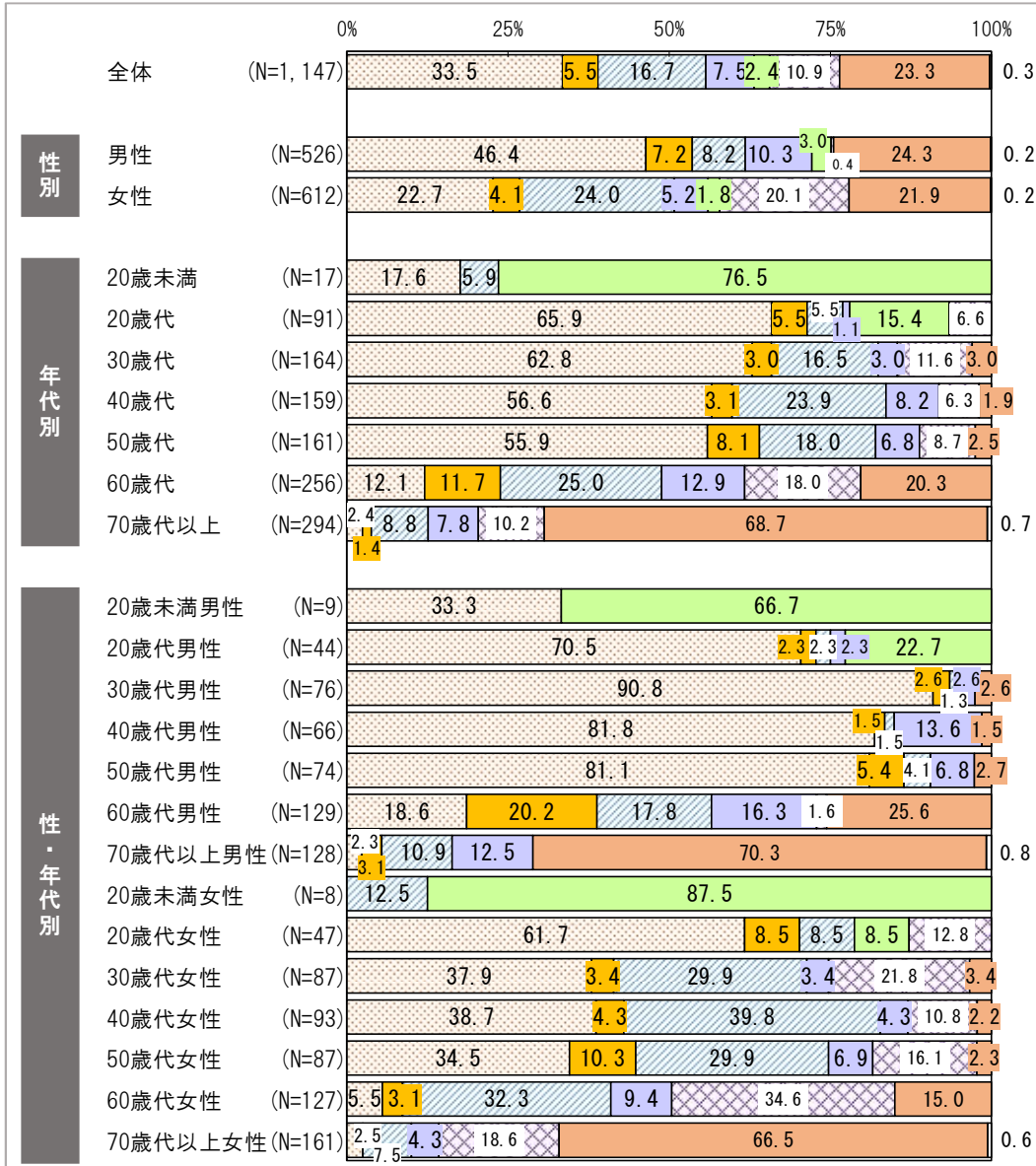


市民意識調査の結果について

○市民の属性

⑥就業状況

正規職員は、60歳代から大きく減少、女性の正規社員30歳代から約半数に（パート・アルバイトに転向）

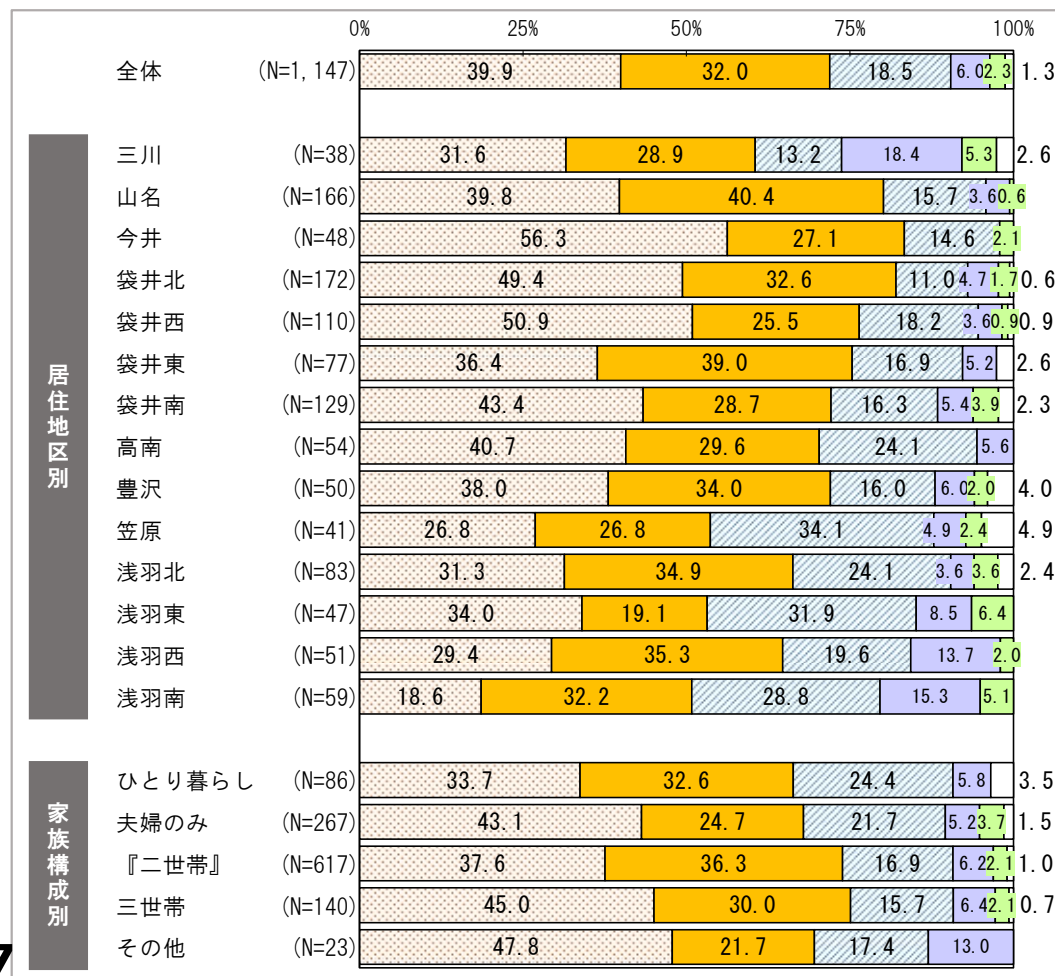
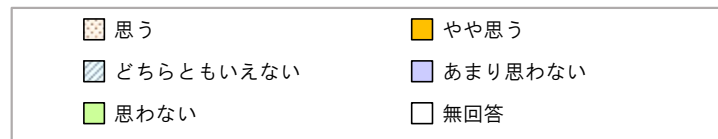
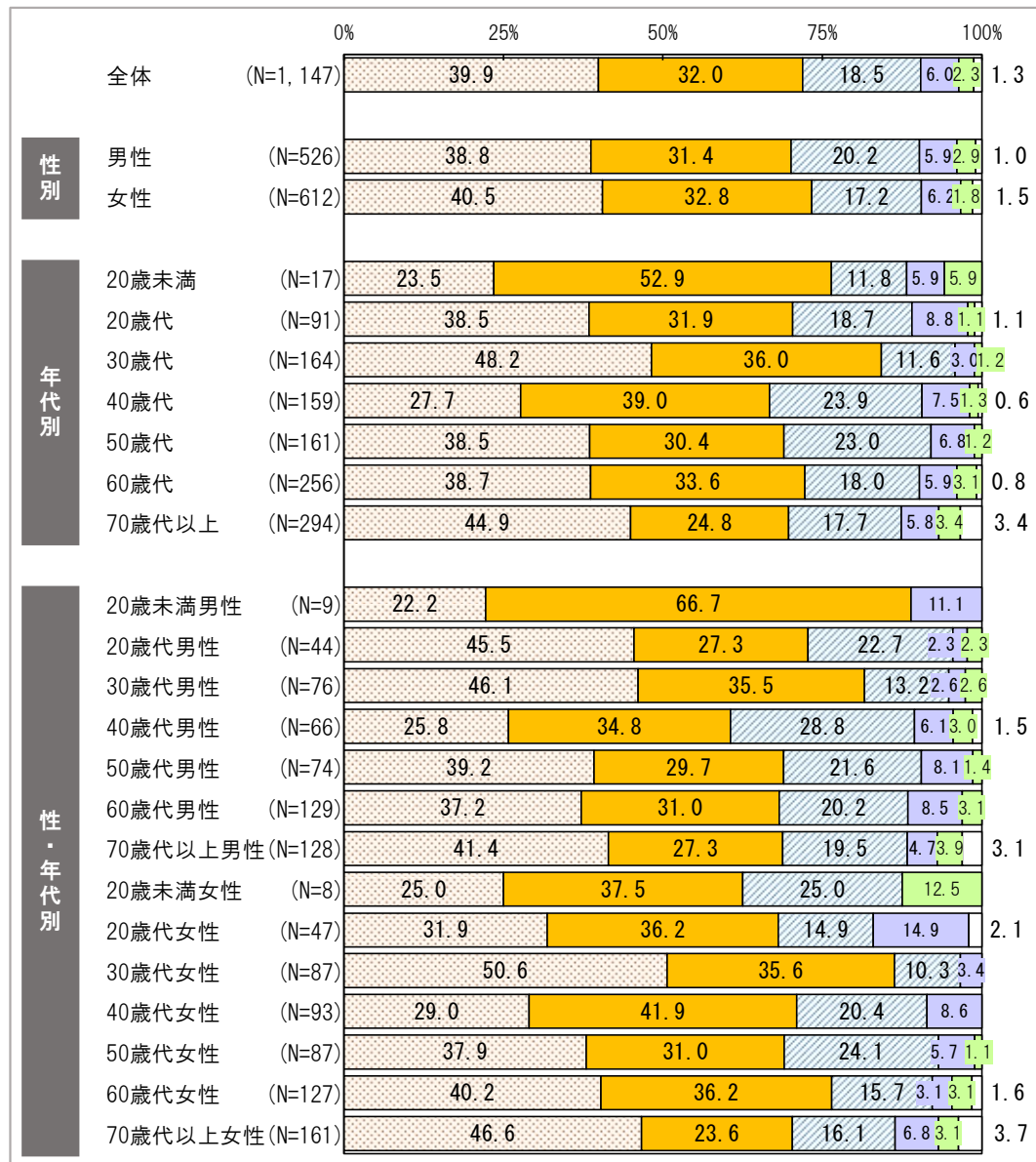


市民意識調査の結果について

○市民の暮らしの状況

⑦住みやすいか

7割強が住みやすいと回答、特に30歳代は約85%が住みやすいと回答

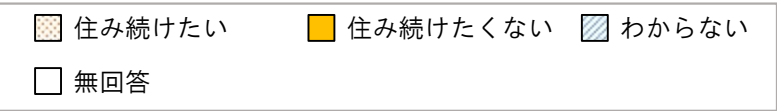
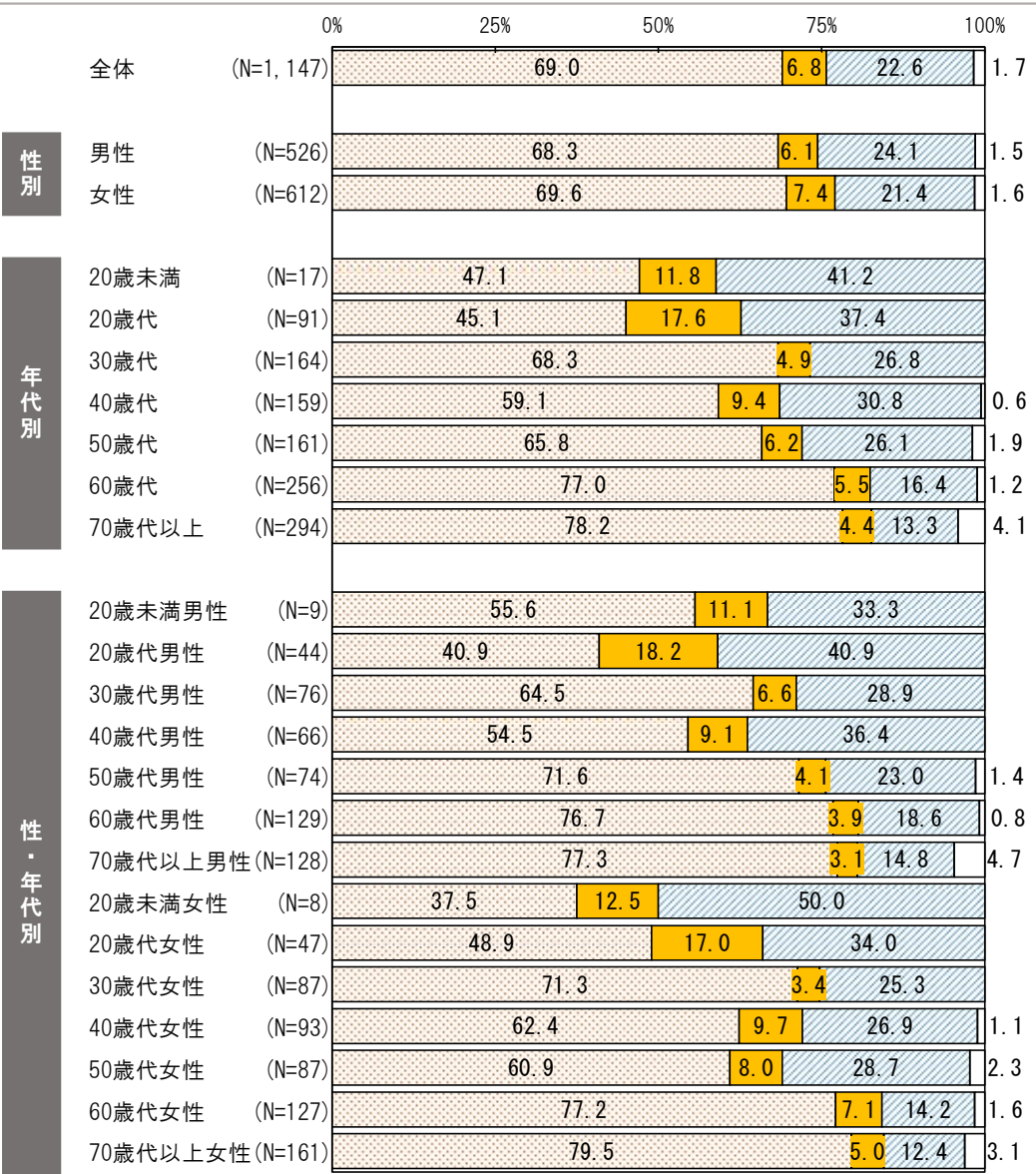


市民意識調査の結果について

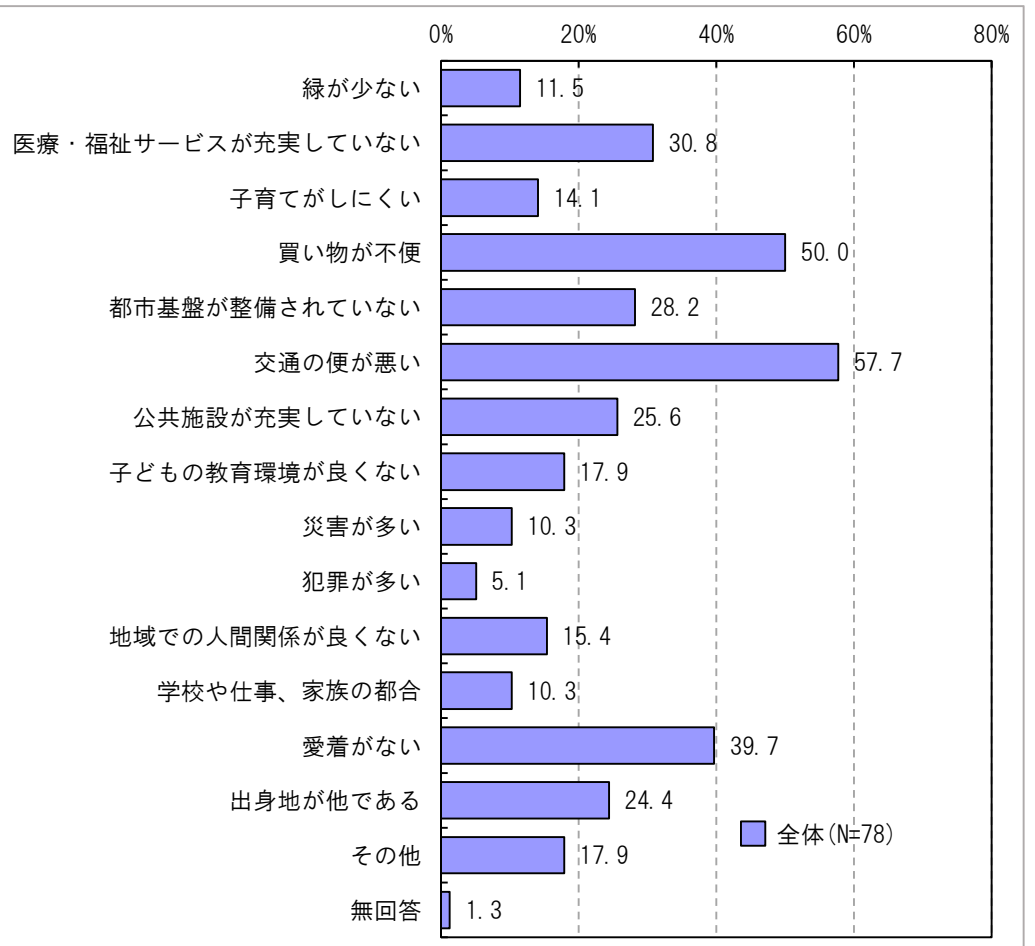
○市民の暮らしの状況

⑧このまま住み続けたいか

年齢が上がるごとに住み続けたいと考える市民が多い、一方住み続けたくない理由は「交通の便の悪さ」が最多



(住み続けたくない理由)

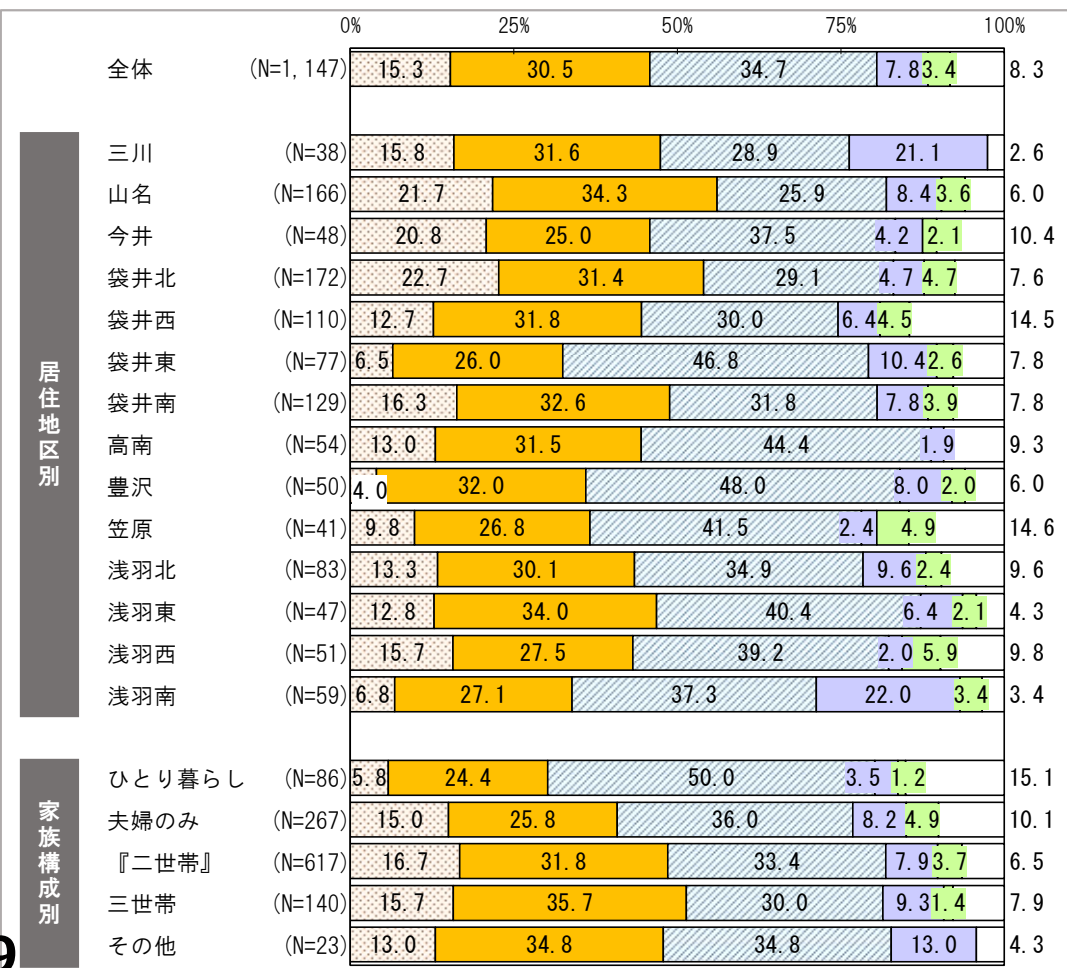
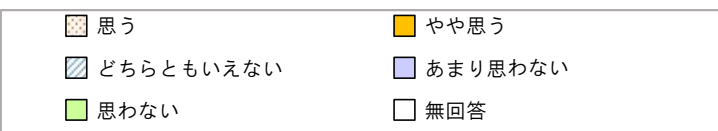
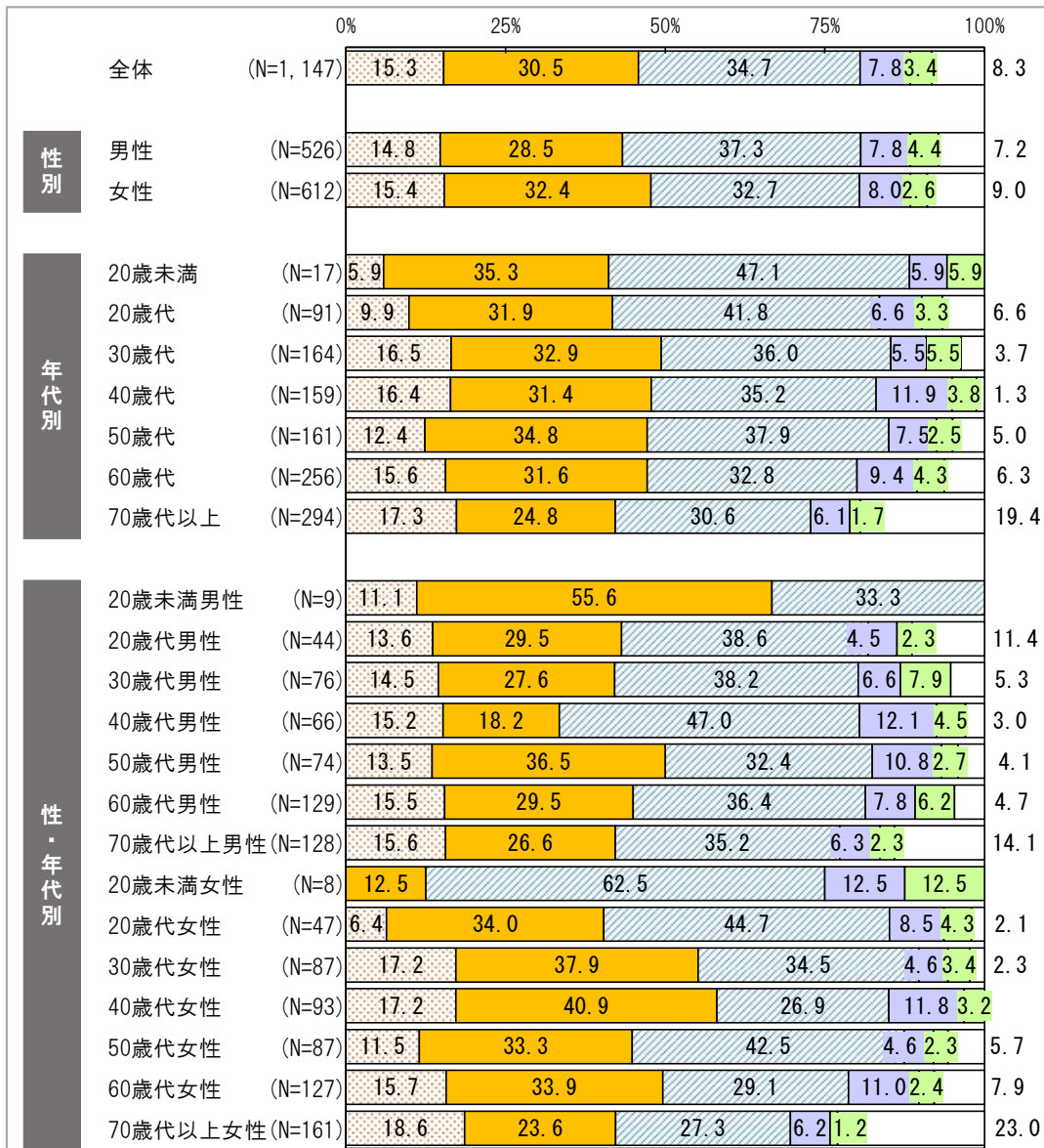


市民意識調査の結果について

○市民の暮らしの状況

⑨子どもを産み育てやすい環境だと思うか

男性よりも女性の方が「子どもを産み育てやすい」と思っている人が多い傾向

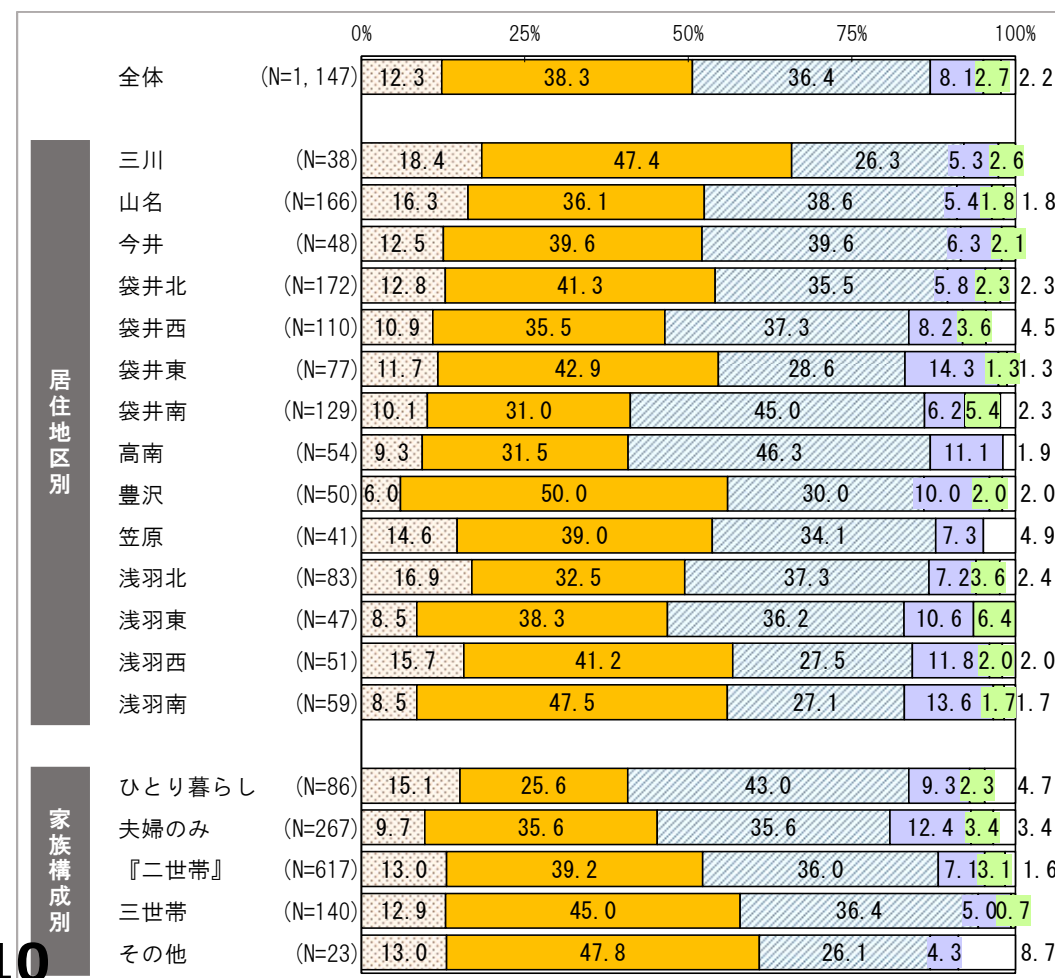
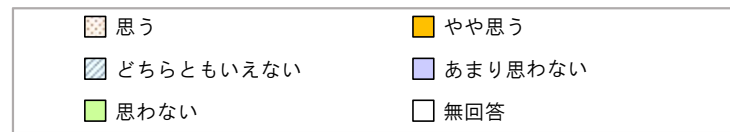
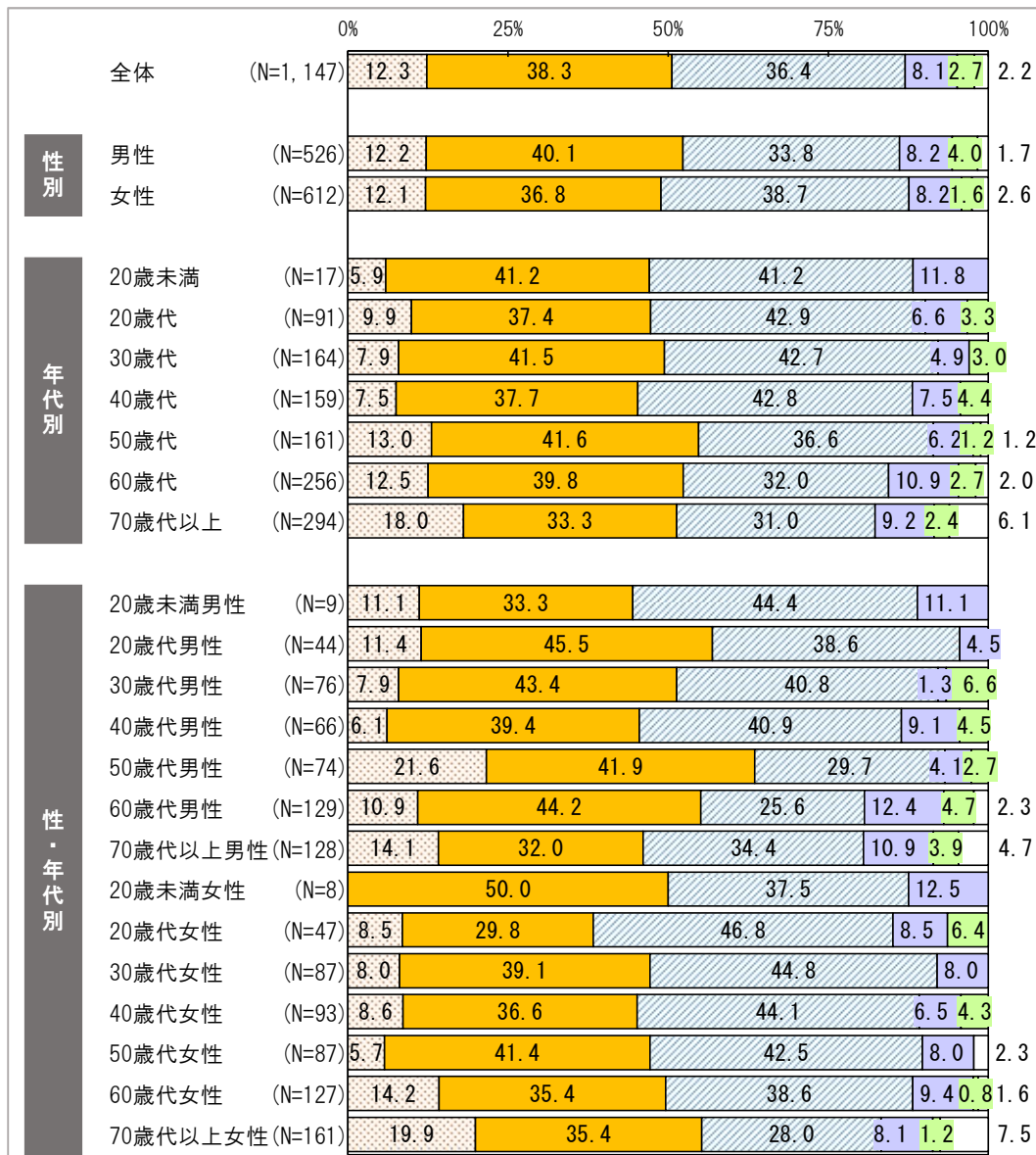


市民意識調査の結果について

○市民の暮らしの状況

⑩地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると思うか

年代が上がるごとに形成されていると思う人が多くなる傾向、特に50歳代男性が高い

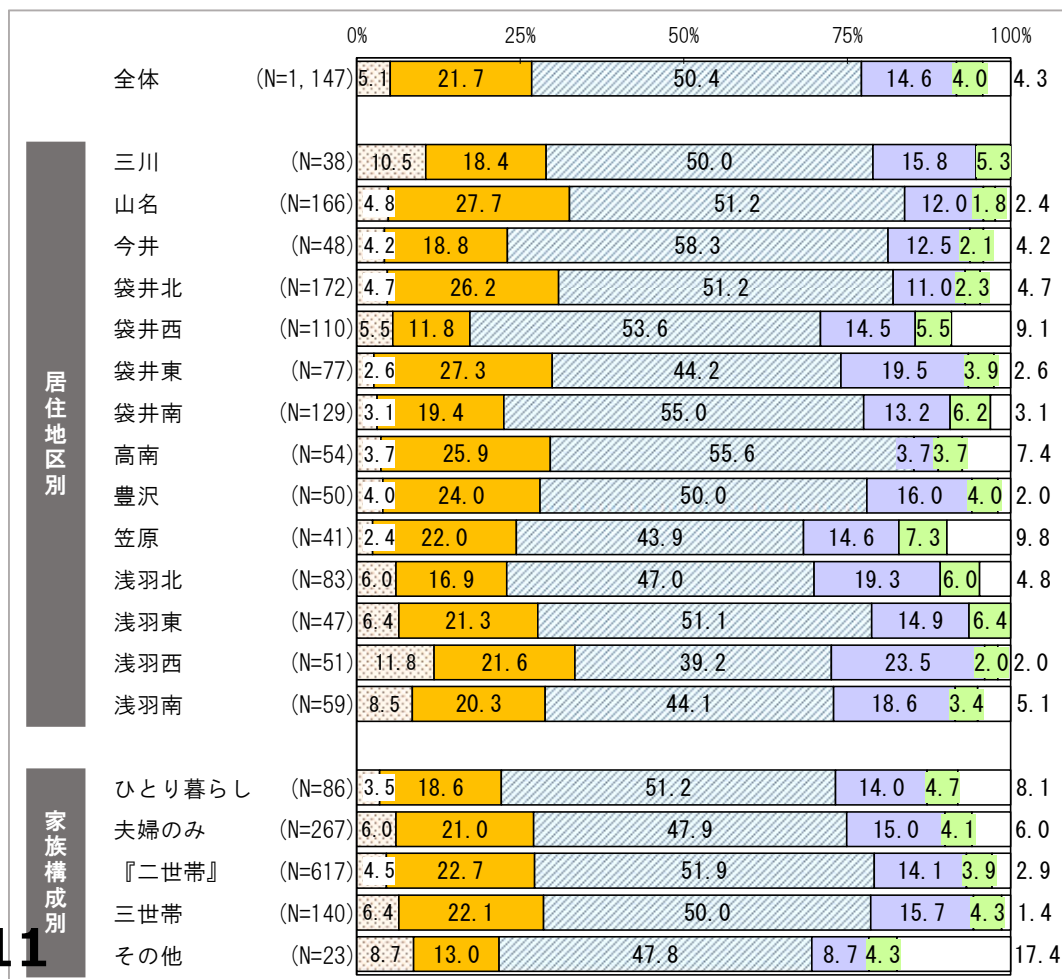
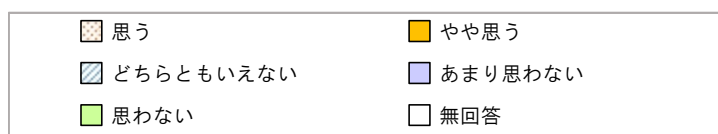
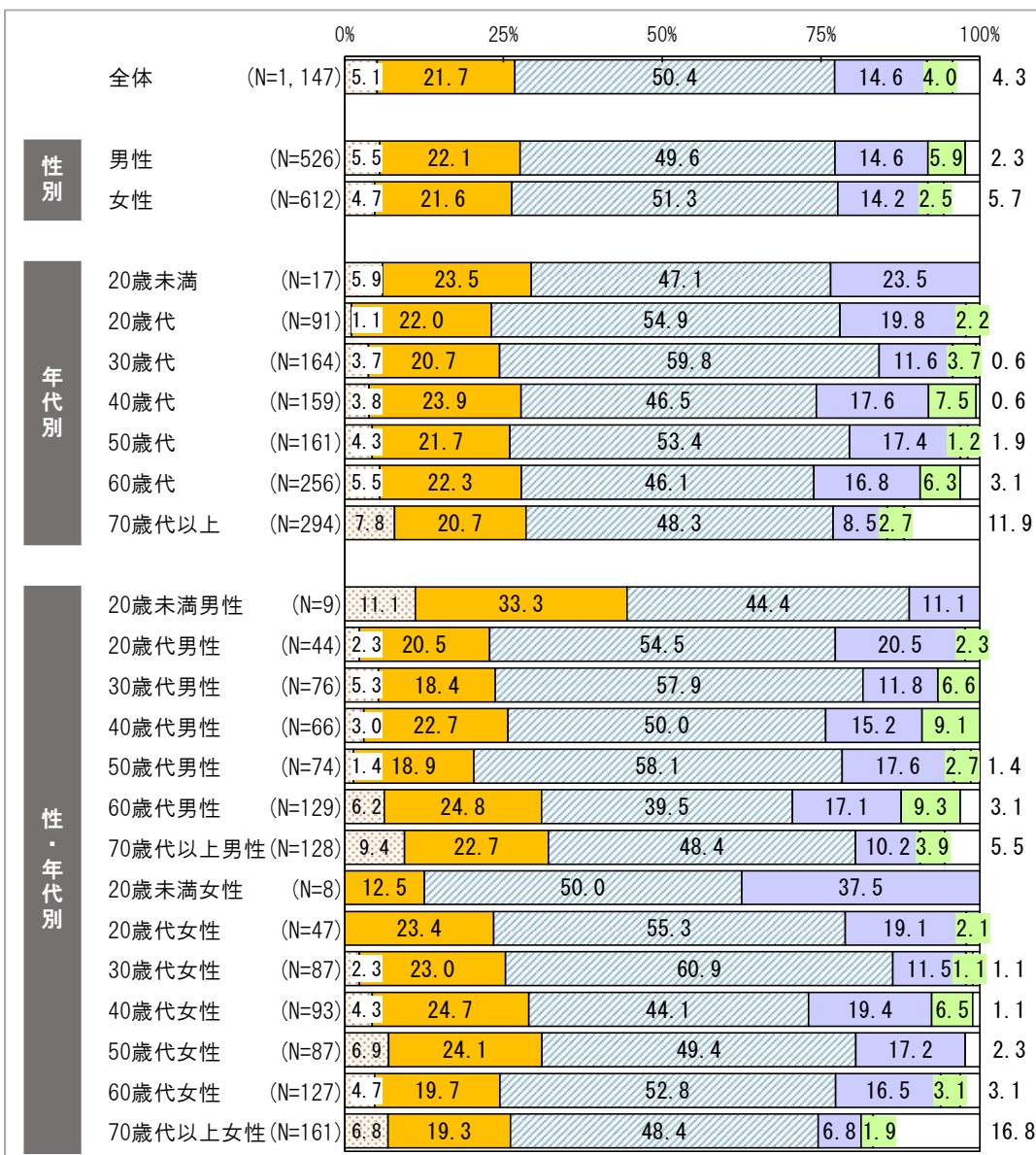


市民意識調査の結果について

○市民の暮らしの状況

⑪満足いく雇用機会に恵まれていると思うか

ほぼ全世代で3割前後と全体的に低い傾向、特に40歳代は男女いずれも約25%が「思わない」と回答

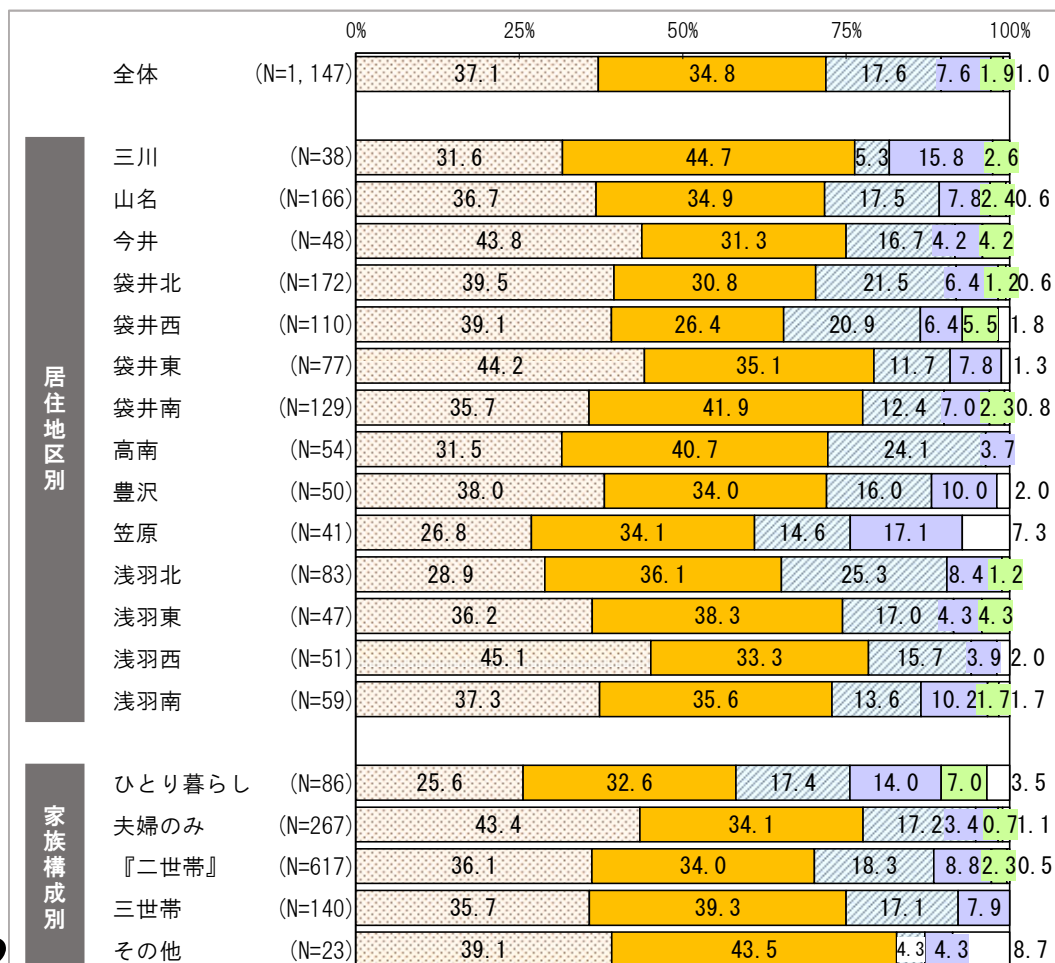
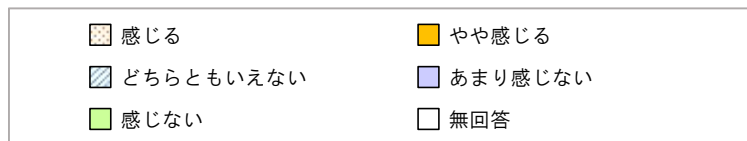
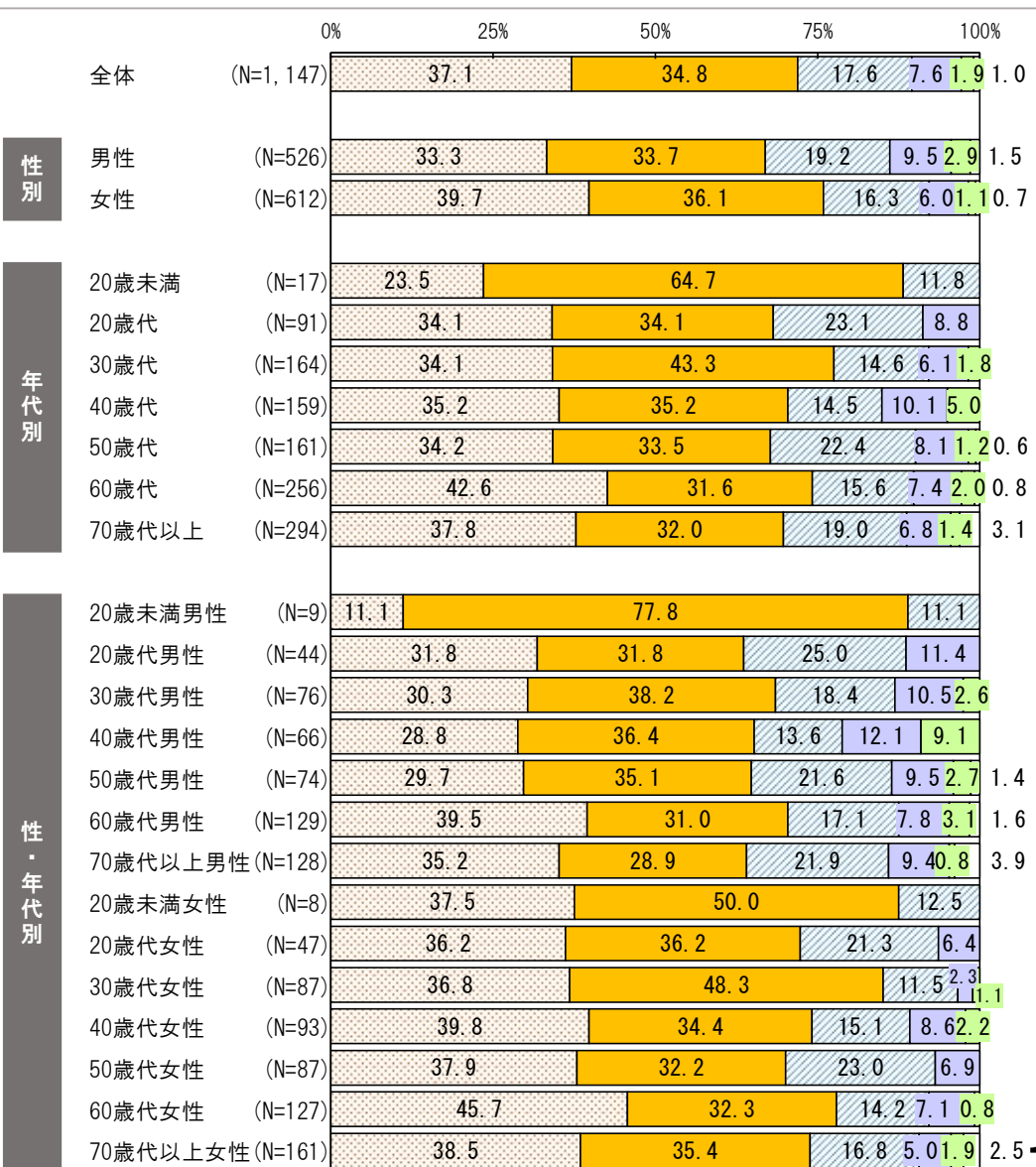


市民意識調査の結果について

○主観的価値観・社会状況の認識

⑫「幸せ」だと感じるか

7割超が「幸せ」と回答、男性よりも女性の方が「幸せ」と回答する割合が高い傾向

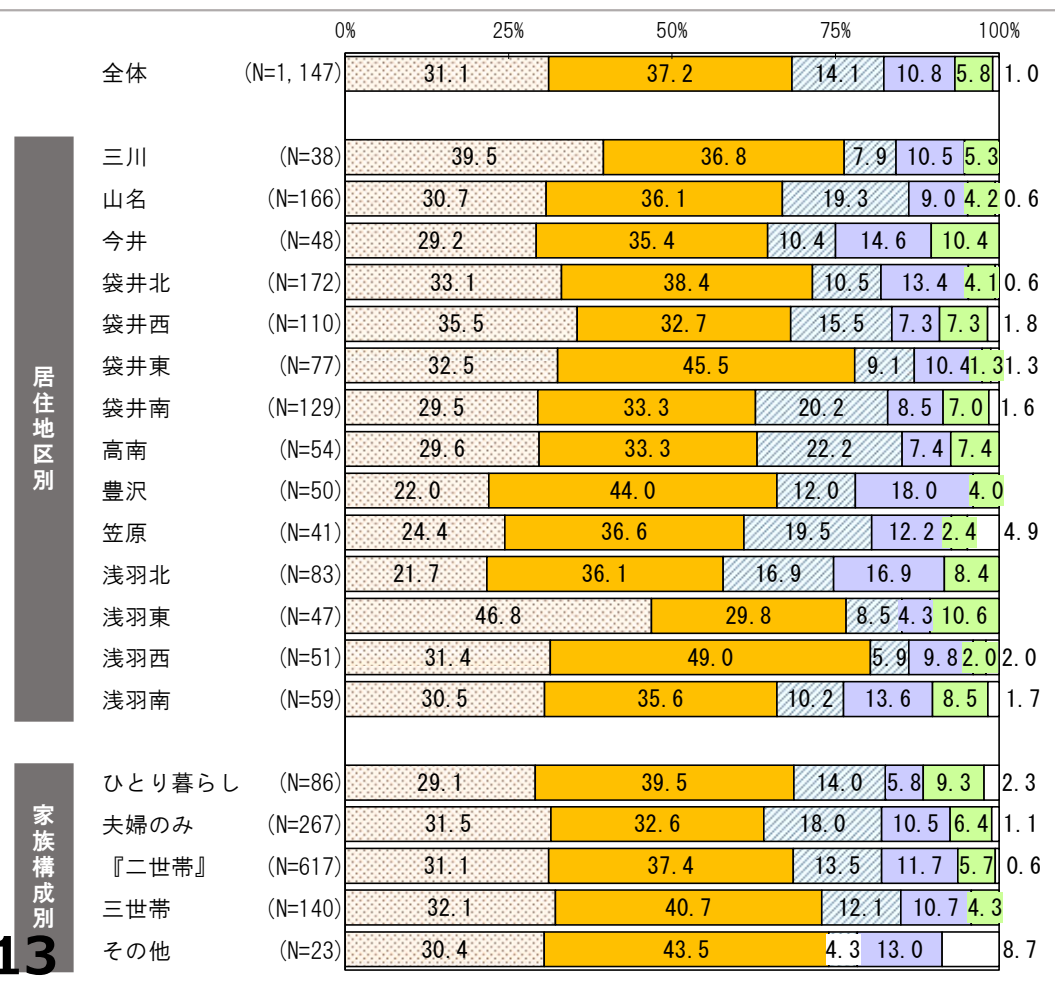
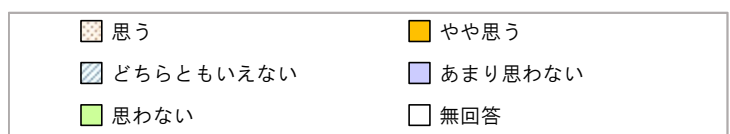
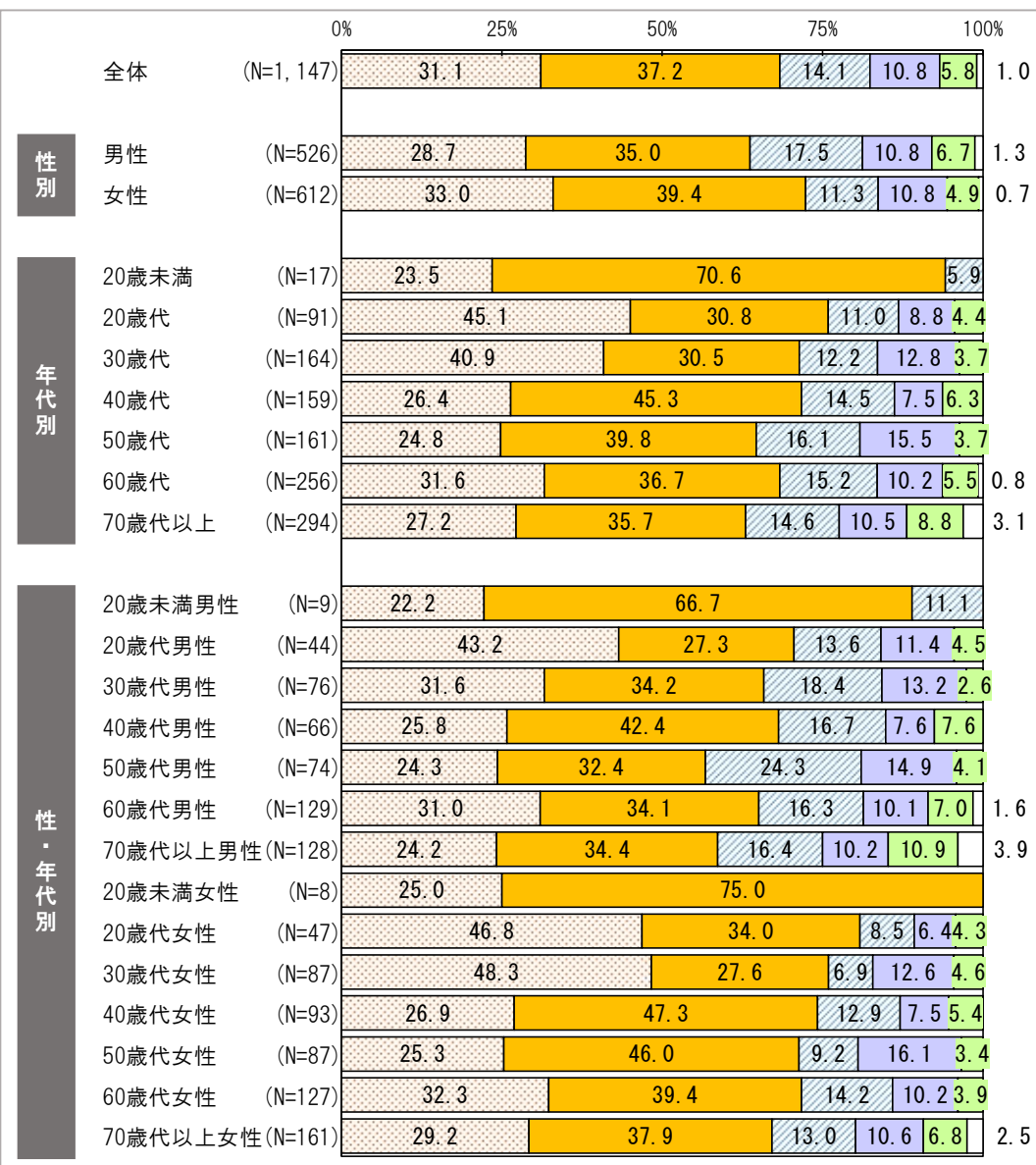


市民意識調査の結果について

○主観的価値観・社会状況の認識

⑬「健康」だと思つか

約7割が「健康」と回答、男性よりも女性の方が「健康」と回答する割合が高く、年齢が上がるごとに低くなる傾向

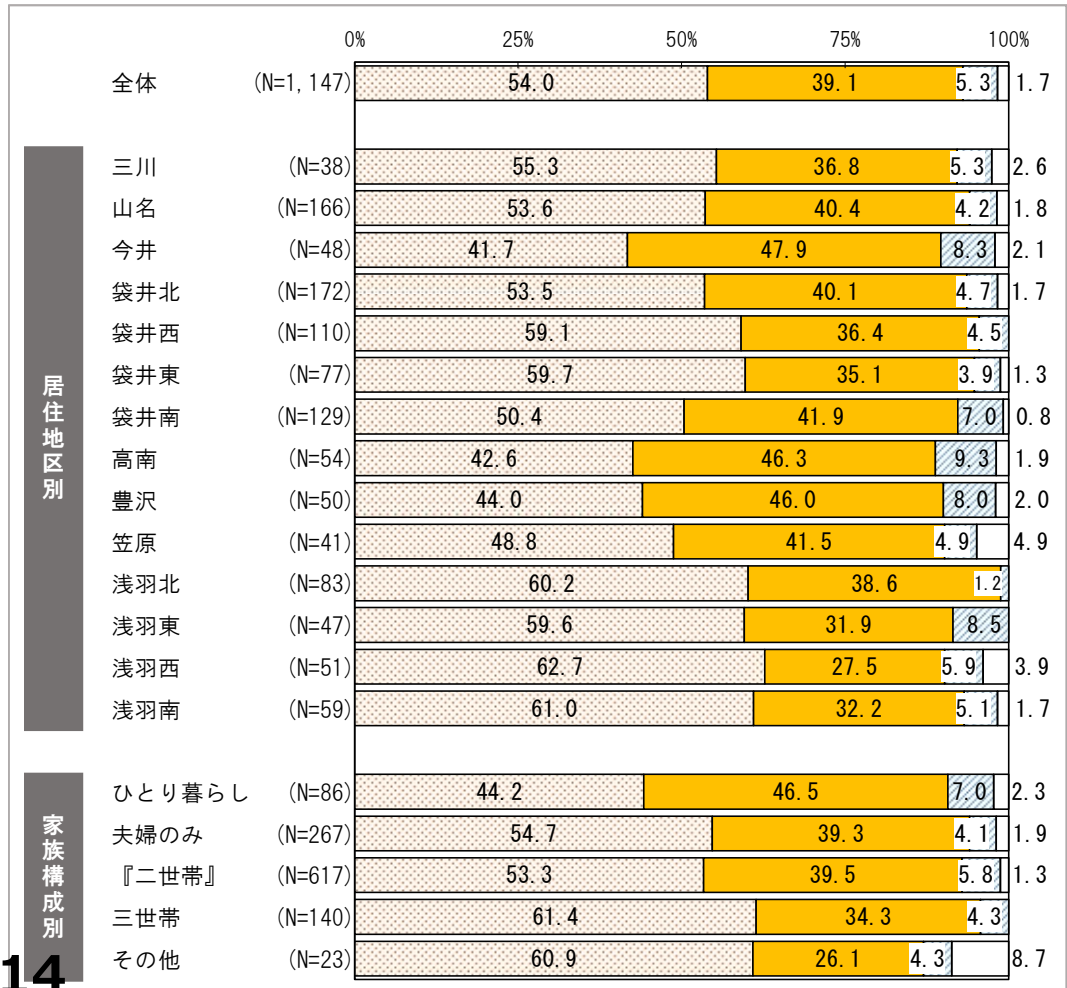
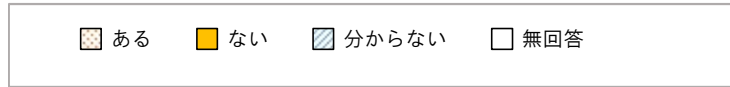
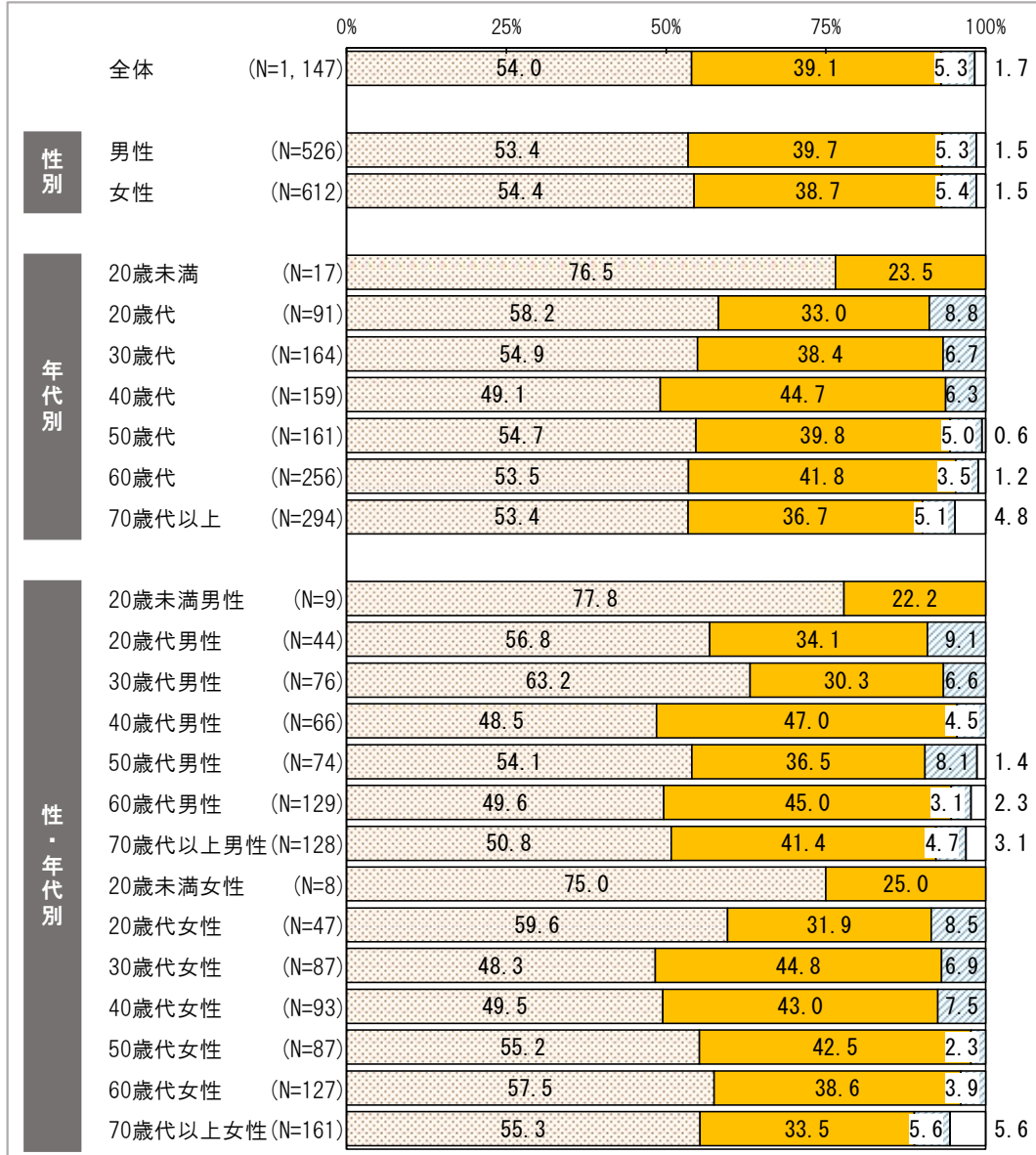


市民意識調査の結果について

○主観的価値観・社会状況の認識

⑭ 仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあるか

約半数が「ある」と回答、若い世代を除くと全年齢であまり差が無い

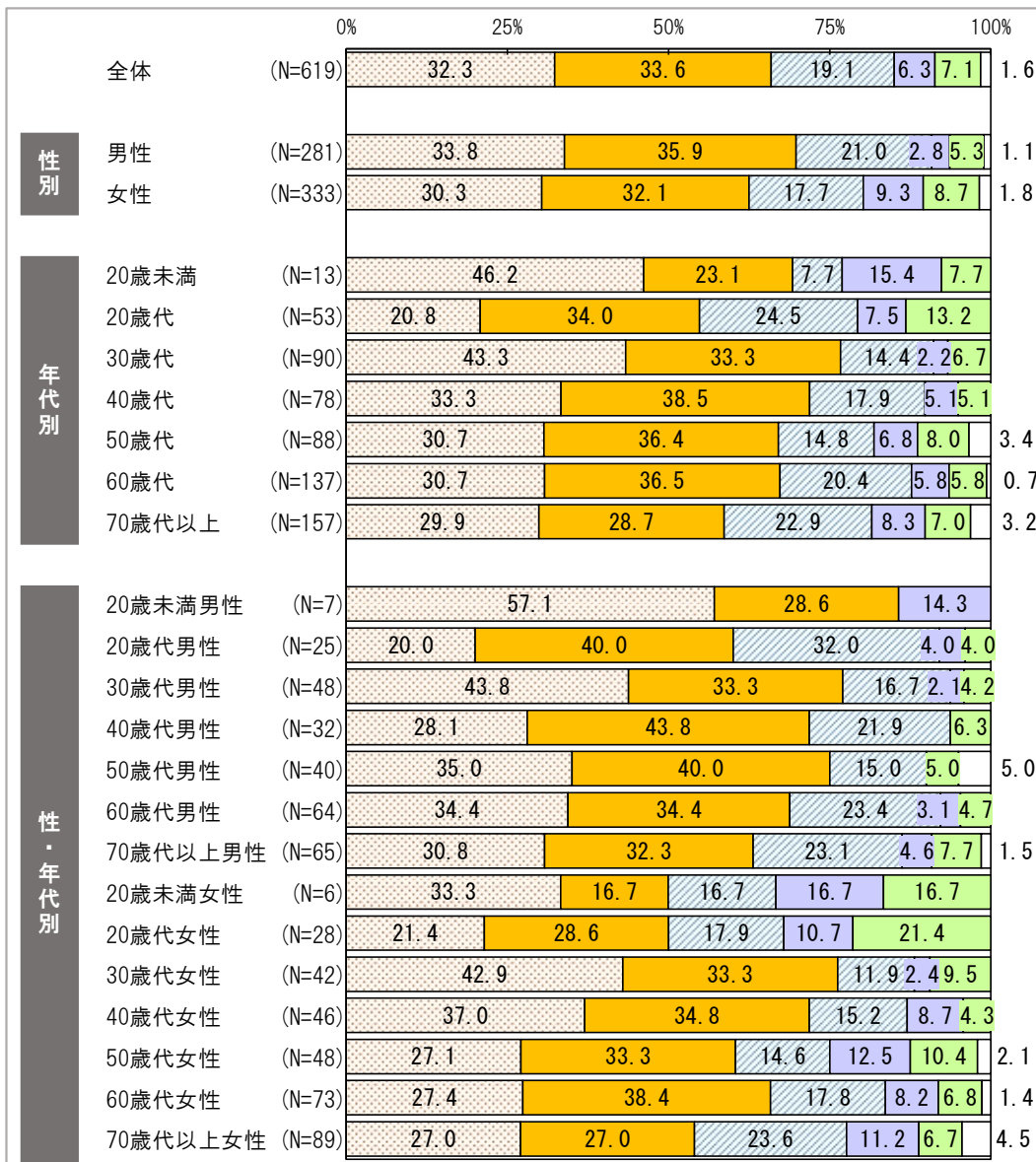


市民意識調査の結果について

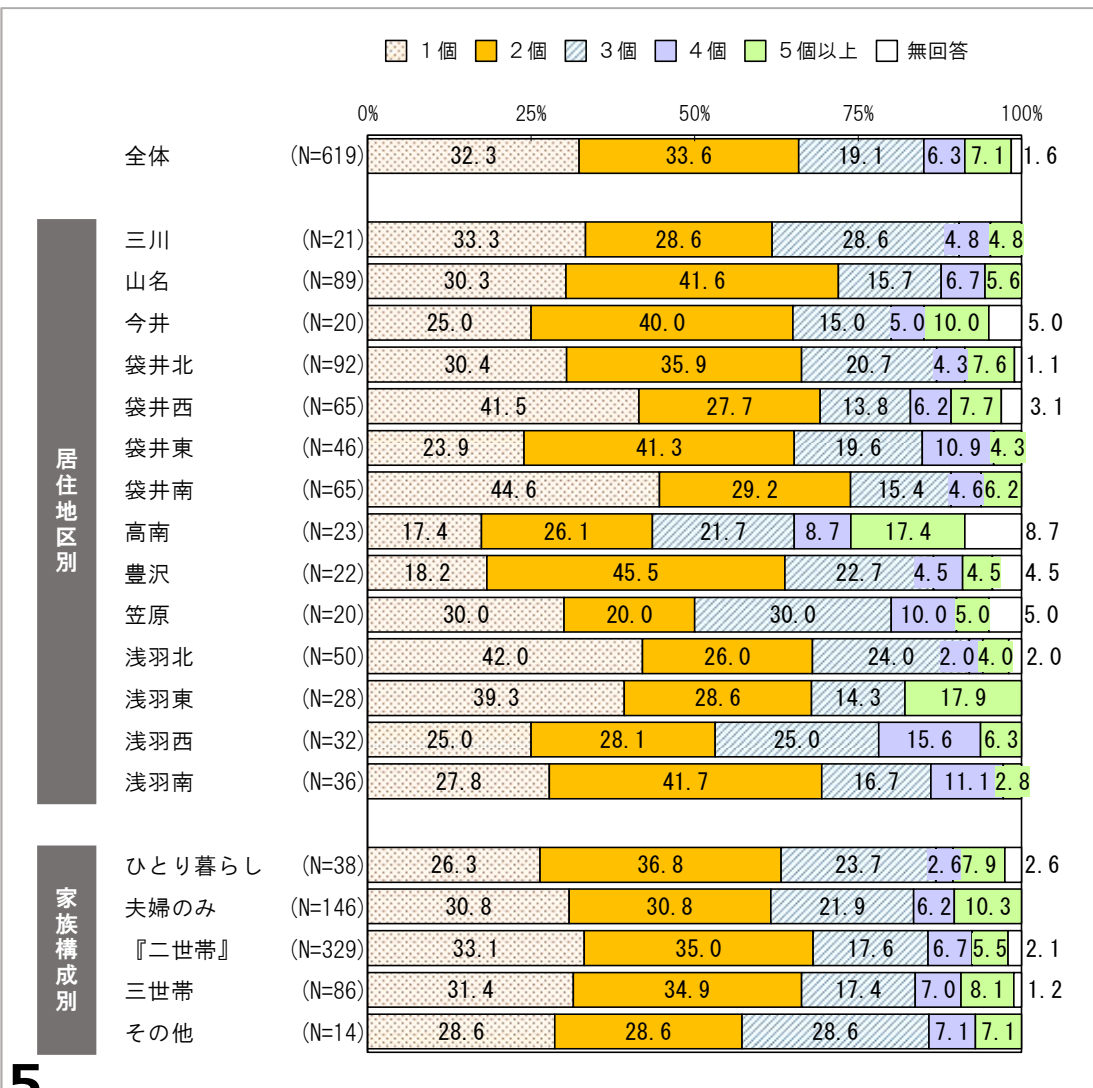
○主観的価値観・社会状況の認識

⑮所属しているコミュニティの数

2個が最多、男性よりも女性の方が複数のコミュニティに所属する傾向



1個 2個 3個 4個 5個以上 無回答



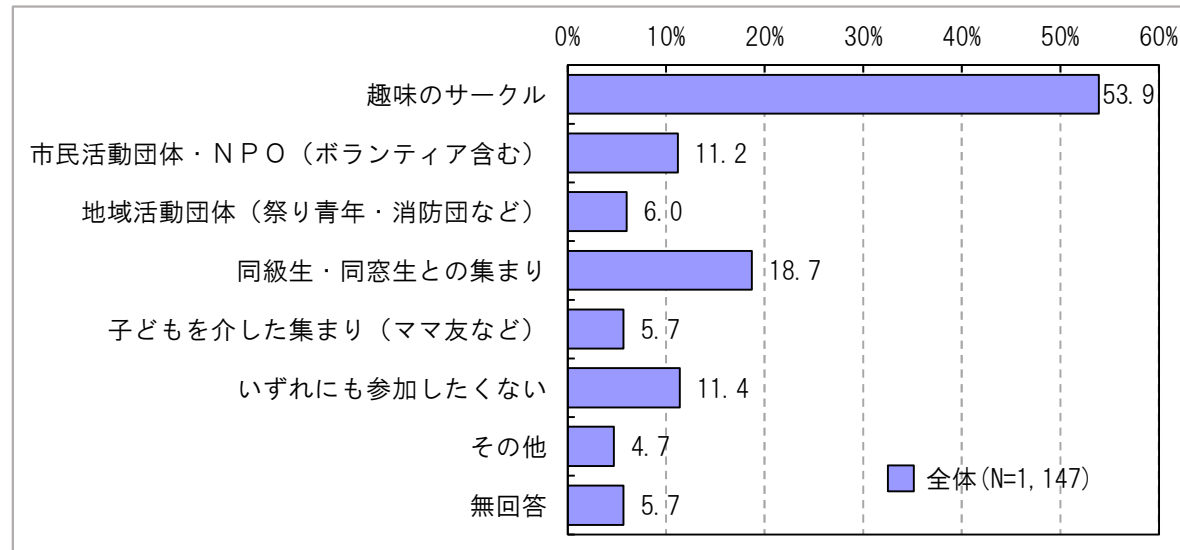
市民意識調査の結果について

○主観的価値観・社会状況の認識

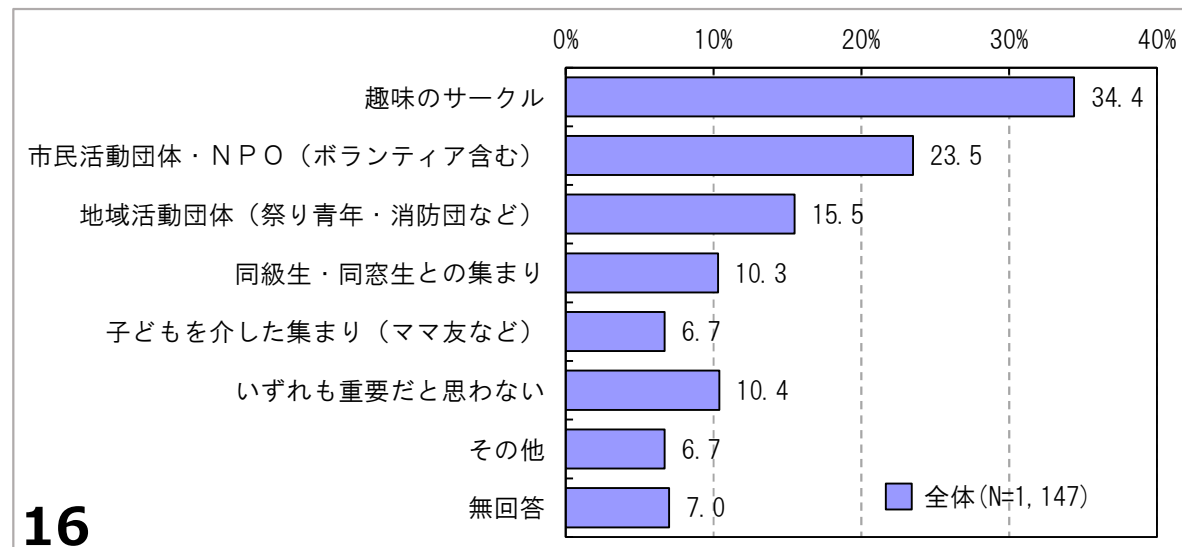
⑯コミュニティの考え方（参加したい・重要だと思う）

いずれも趣味のサークルが最多、一方で、重要だと思うコミュニティは市民活動団体や地位活動団体が多い

（参加したいコミュニティの種類）



（最も重要だと思うコミュニティの種類）

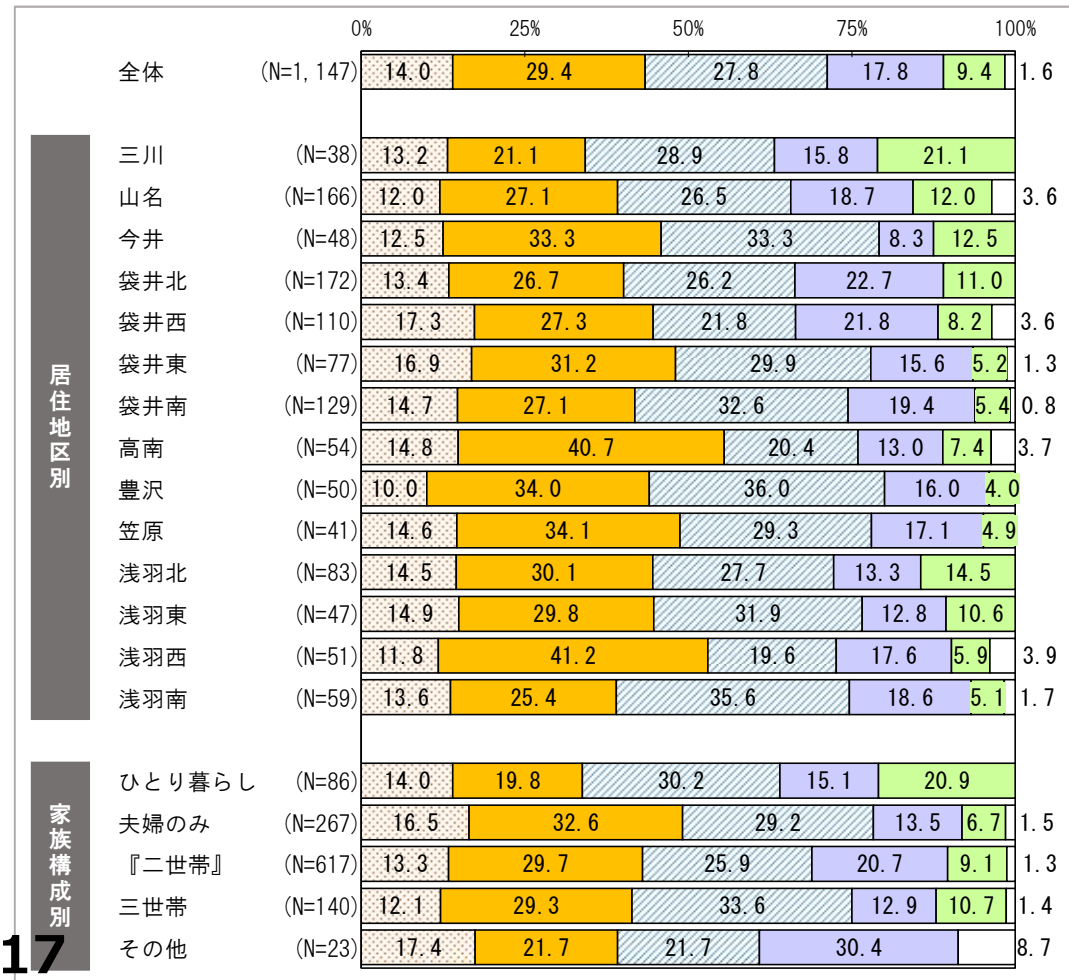
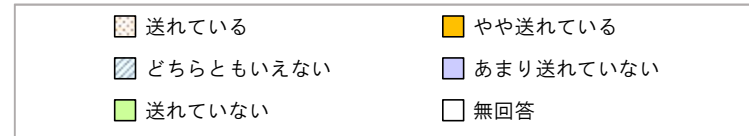
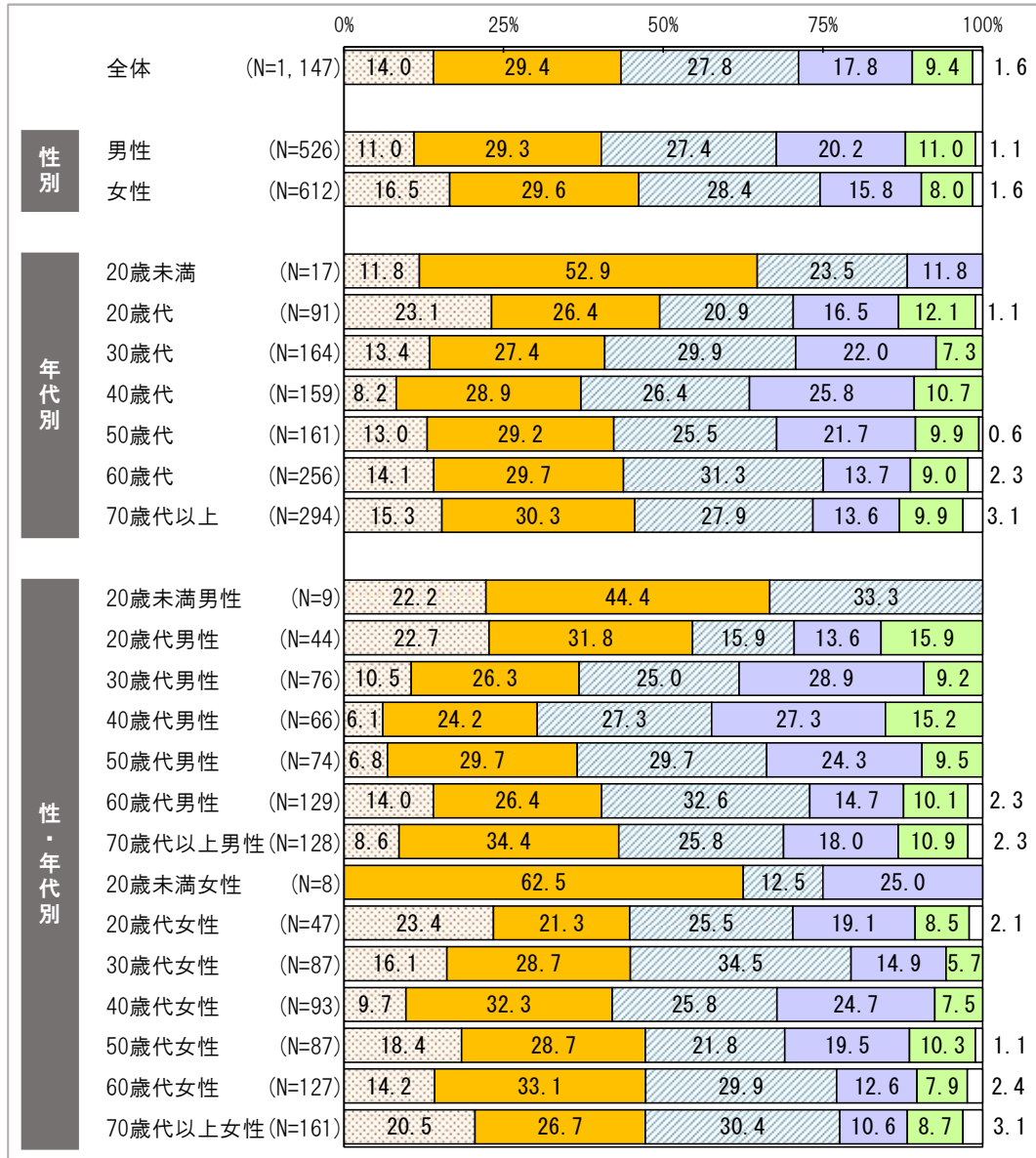


市民意識調査の結果について

○主観的価値観・社会状況の認識

⑰ 経済的に余裕がある生活を送れているか

「送れている」が4割強、40歳代は「送れていない」と回答した割合が約35%と高い

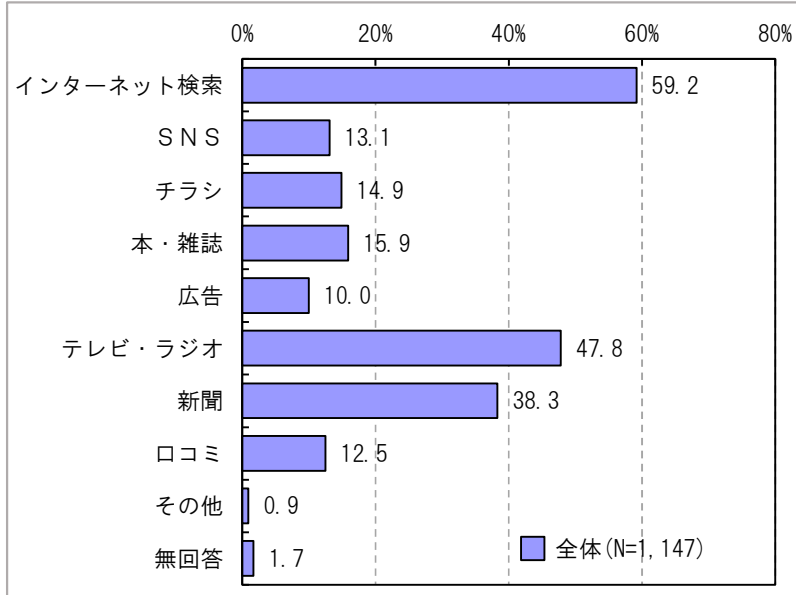


市民意識調査の結果について

○主観的価値観・社会状況の認識

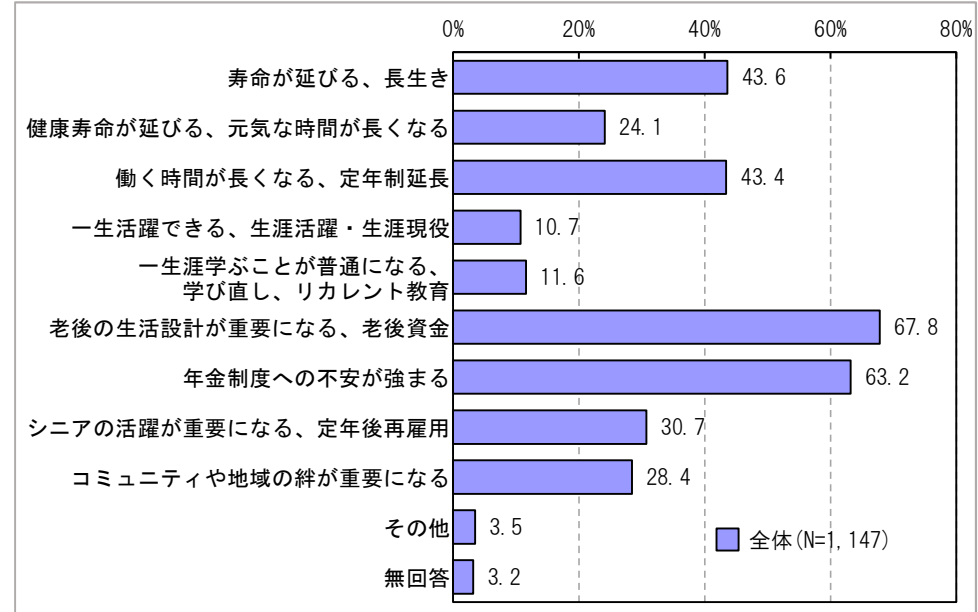
⑱ 知りたい情報の取得方法

インターネットが約6割、次いでテレビ等が約5割



⑲ 「人生100年時代」からイメージすること

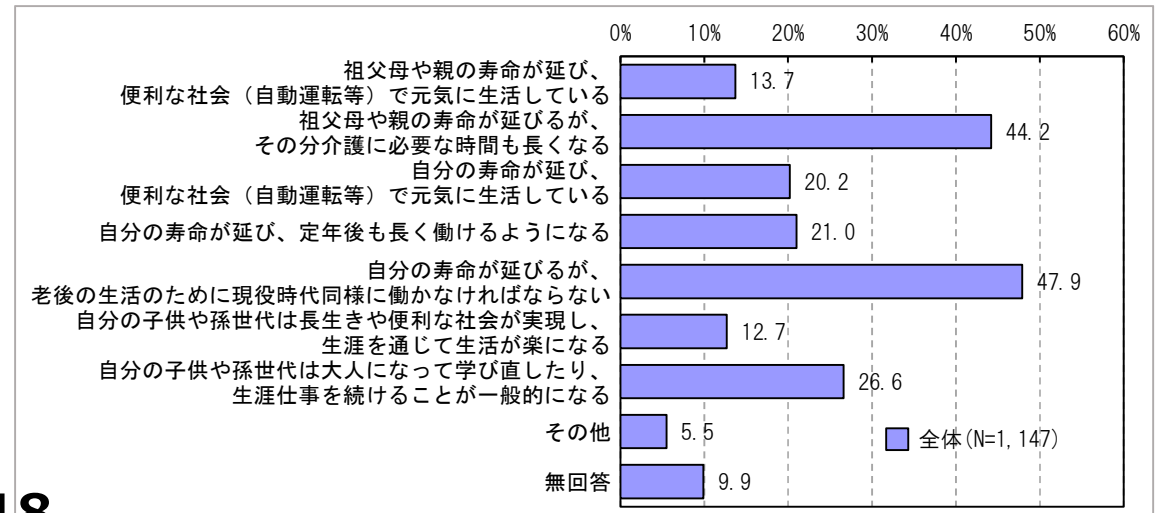
老後の生活設計や年金などの「老後の生活」が最多



⑳ 「人生100年時代」「健康寿命の延伸」

「AIやIoTの活用」「リカレント教育」など最近話題の言葉からイメージする暮らし方

老後の生活のための労働や介護など「生活の負担増」をイメージする割合が多い



市民意識調査の結果について

○本市への思い・考え方

①袋井市にあつたら生活が豊かになると思うもの（上位6件）

ショッピングセンターが圧倒的に多数を占める

1位	2位	3位	4位	5位	6位
ショッピングセンター (商業施設等含む)	公園	病院	バス	映画館	図書館

②袋井市の魅力を知ってもらうために活用すべき良いところ（上位6件）

特産品を基幹作物（メロン・お茶・米）と考えるとメロンが圧倒的に多数を占める

1位	2位	3位	4位	5位	6位
メロン・クラウンメロン	特産品	遠州三山	エコパスタジアム	歴史	花火・花火大会

③袋井市の中で「お気に入り」の場所（上位6件）

場所単独ではエコパスタジアムだが、遠州三山が2～5位と多数を占める

1位	2位	3位	4位	5位	6位
エコパスタジアム	法多山	可睡齋	遠州三山	油山寺	愛野公園

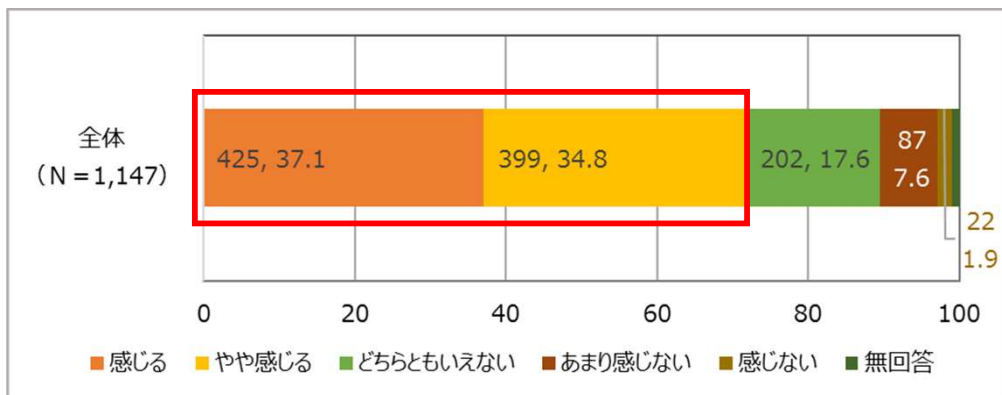
市民意識調査結果について

○主観的幸福観のクロス集計

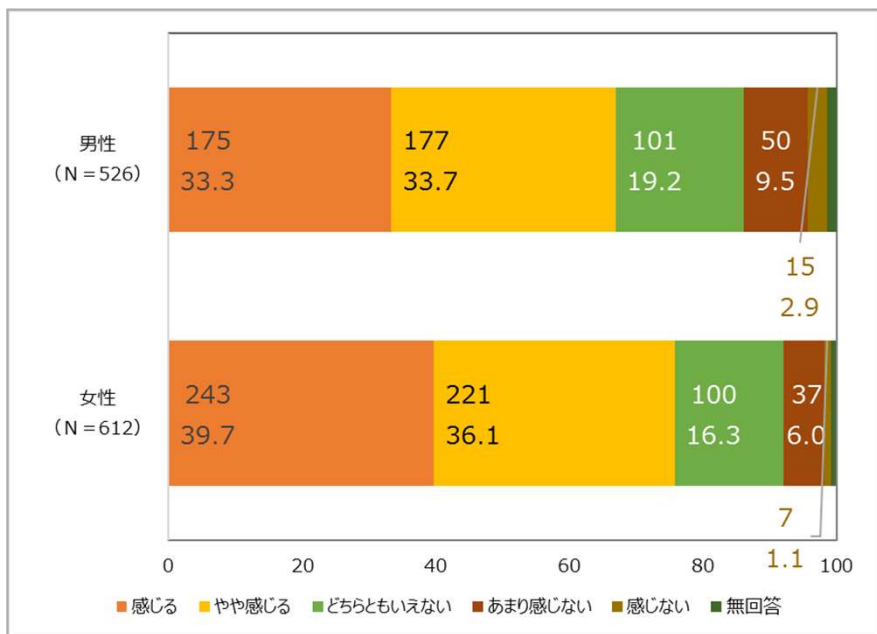
㊤自分が「幸せ」だと感じているか（再掲）

7割超が「幸せ」と回答、男性よりも女性の方が「幸せ」と回答する割合が高い傾向

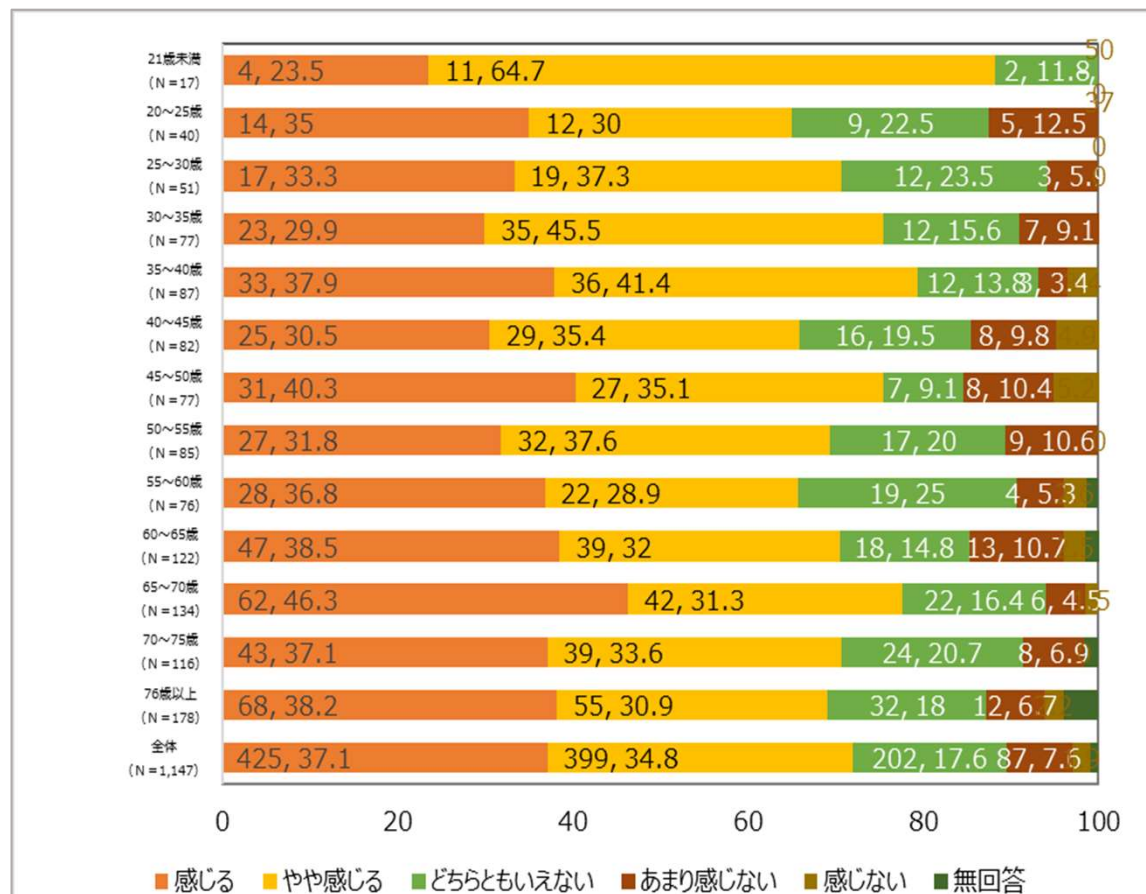
（全体）



（男女別）



（年齢別）



（グラフ内数値の単位）

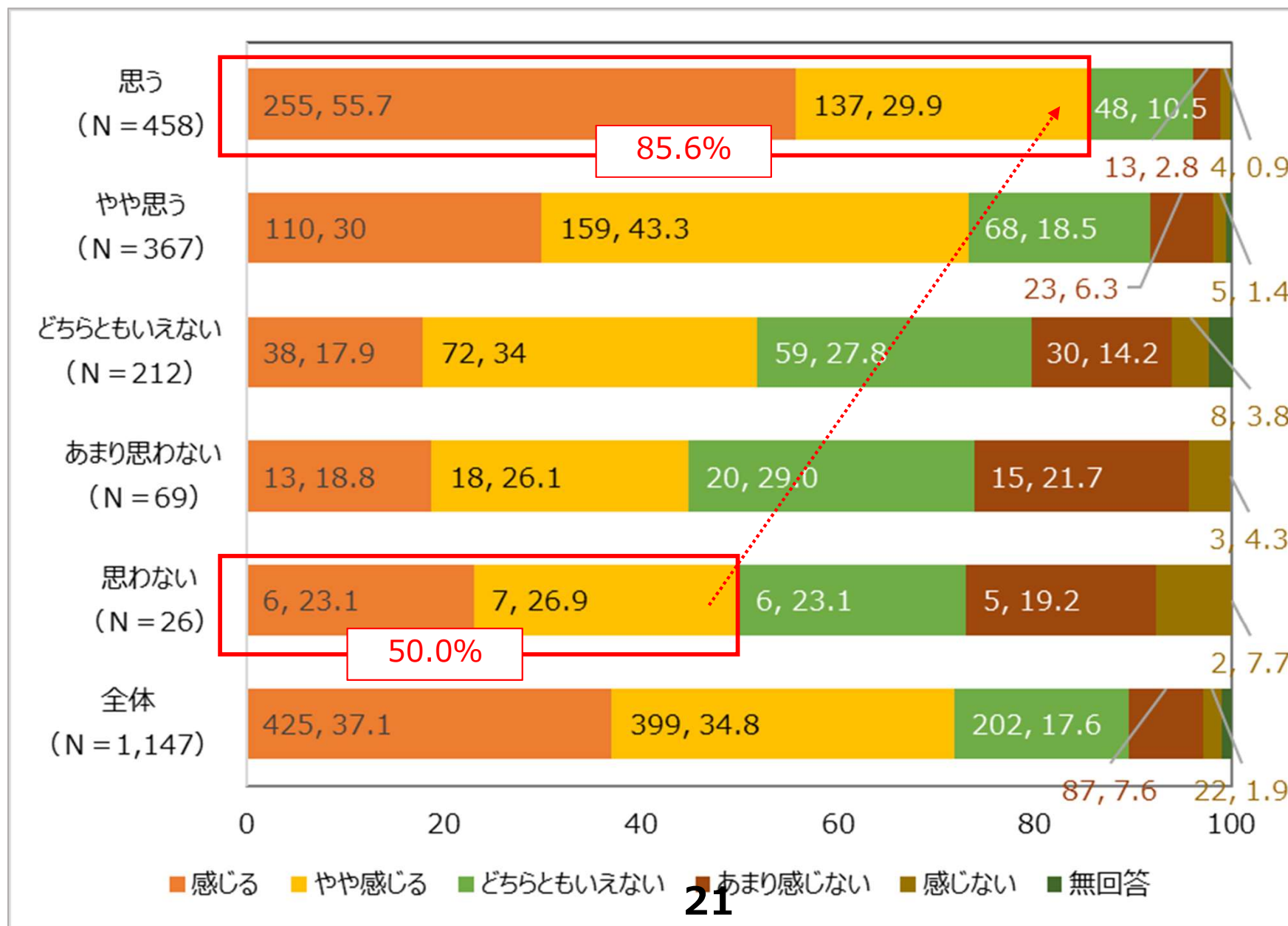
前・上：件数

後・下：%

市民意識調査結果について

②5 住みやすいと思うか×「幸せ」だと感じるか
 住みやすいと思う人ほど「幸せ」だと感じる傾向が強い

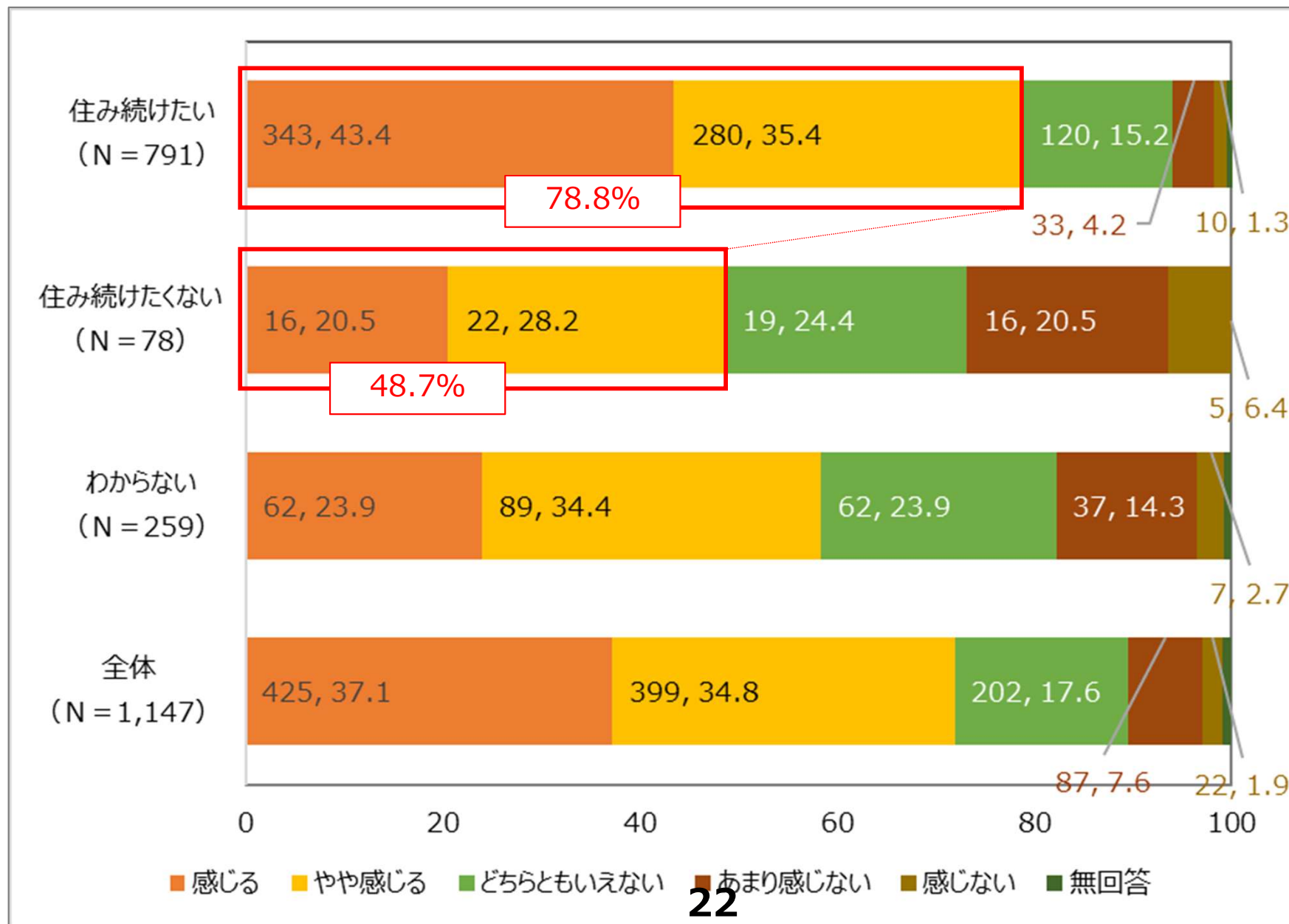
(グラフ内数値の単位)
 前：件数
 後：%



市民意識調査結果について

②6 住みたいと思うか×「幸せ」だと感じるか 住みたい人の方が「幸せ」だと感じる傾向が強い

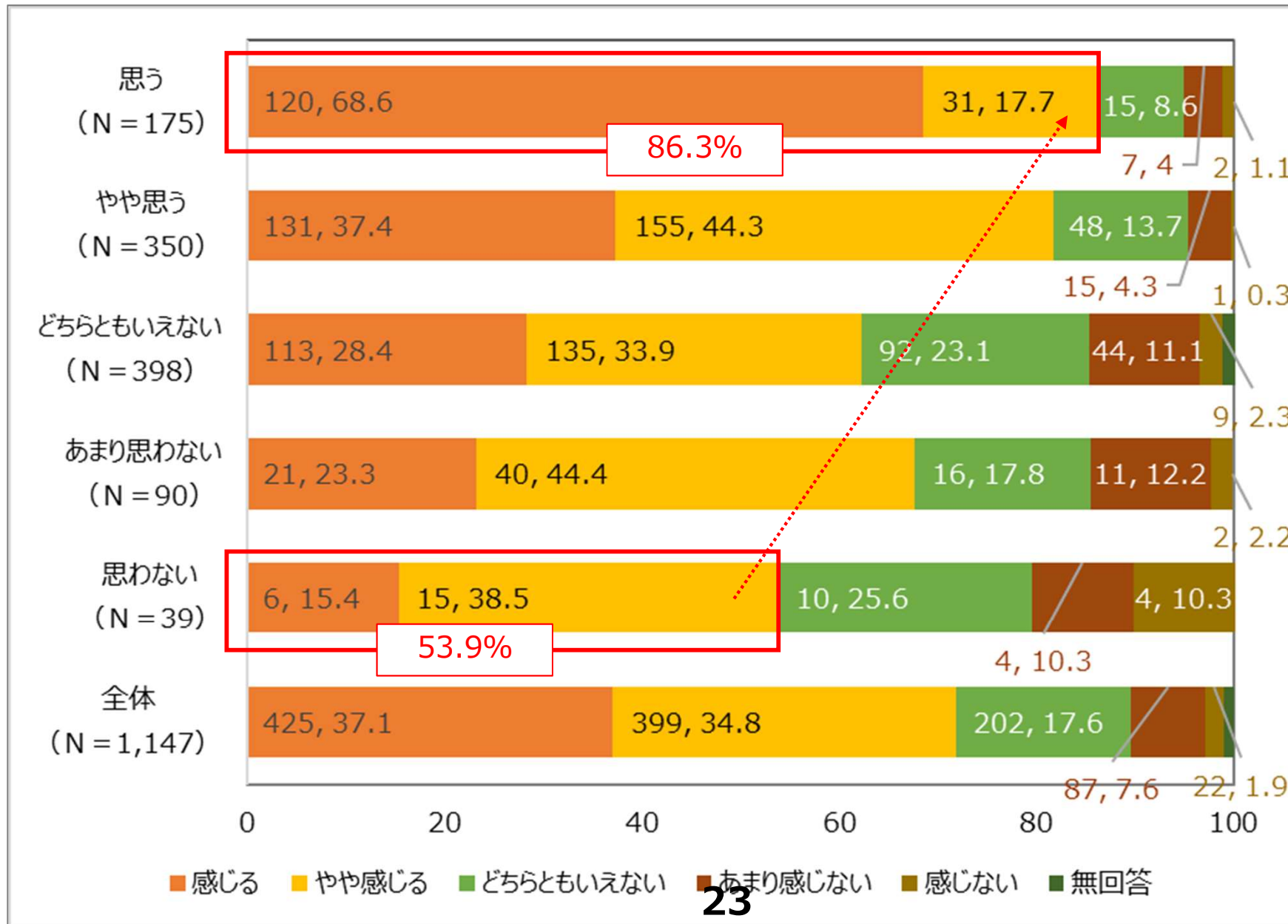
(グラフ内数値の単位)
前：件数
後：%



市民意識調査結果について

⑳ 子どもを産み育てやすい環境だと思うか×「幸せ」だと感じるか
 育てやすいと思う人ほど「幸せ」だと感じる傾向が強い

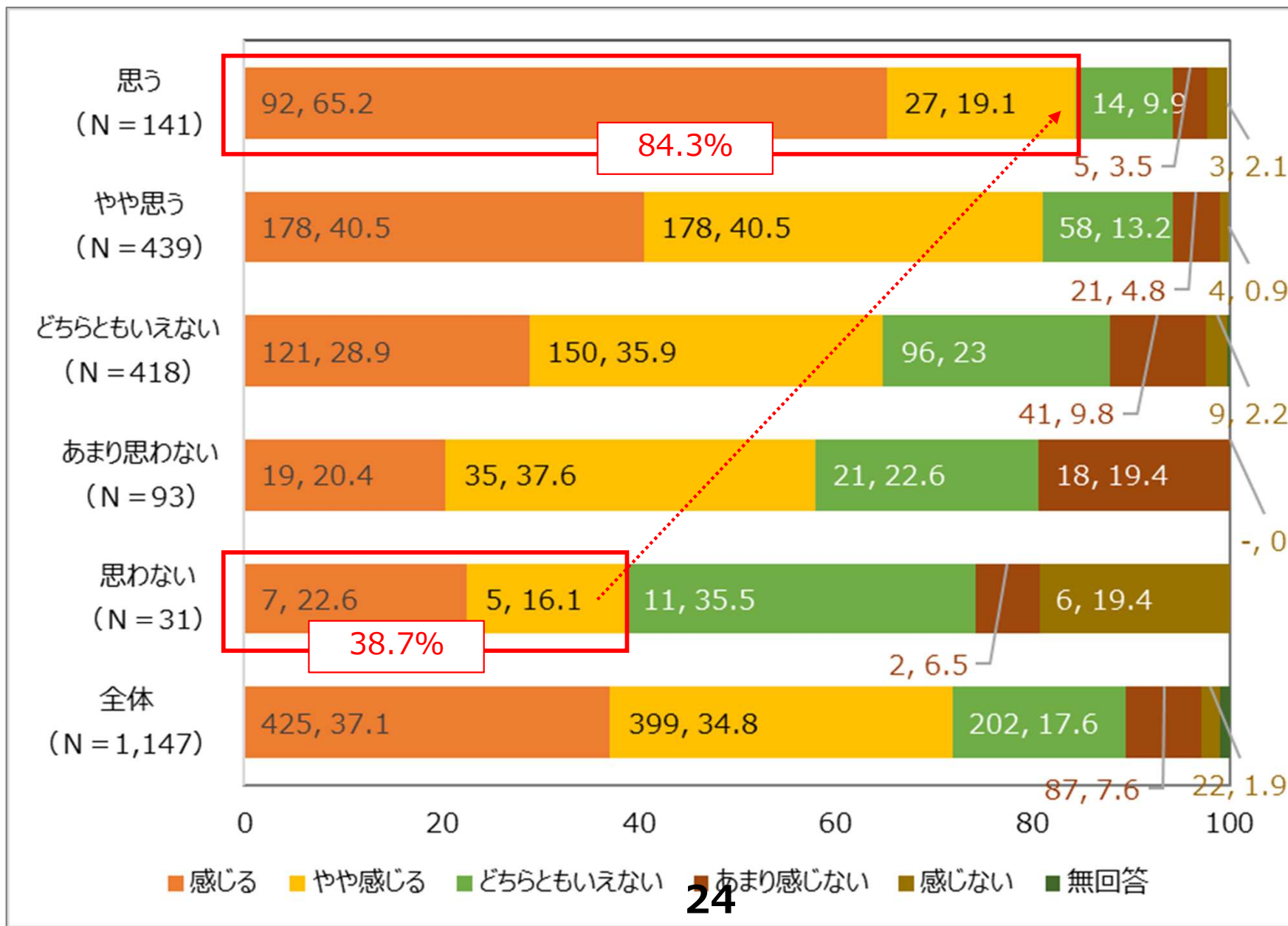
(グラフ内数値の単位)
 前：件数
 後：%



市民意識調査結果について

⑳地域の絆や支え合いの仕組みの形成がされていると思うか×「幸せ」だと感じるか
 形成されていると思う人ほど「幸せ」だと感じる傾向が強い

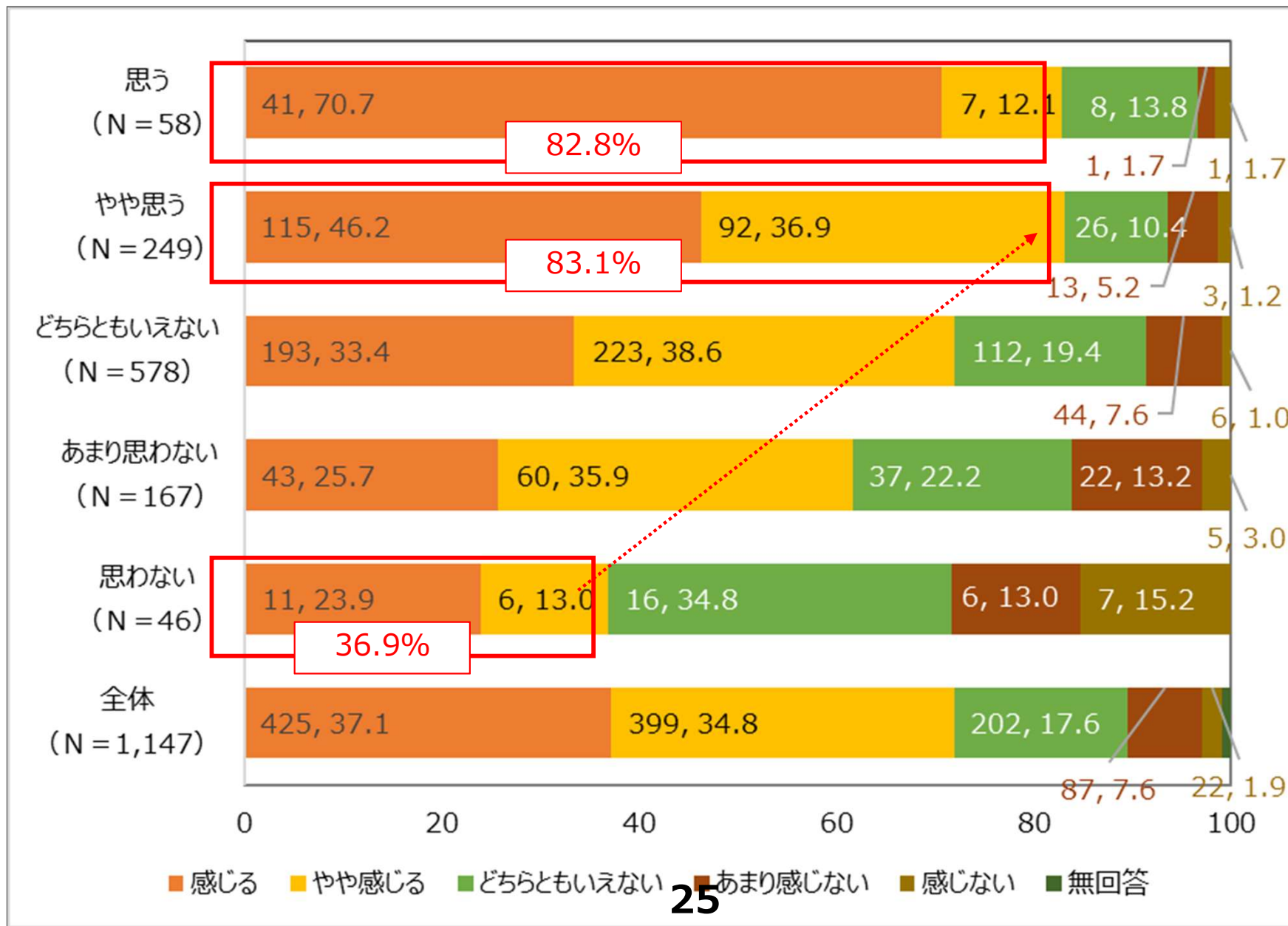
(グラフ内数値の単位)
 前：件数
 後：%



市民意識調査結果について

②9満足のいく雇用機会に恵まれていると思うか×「幸せ」だと感じるか
 恵まれていると思う人ほど「幸せ」だと感じる傾向が強い

(グラフ内数値の単位)
 前：件数
 後：%

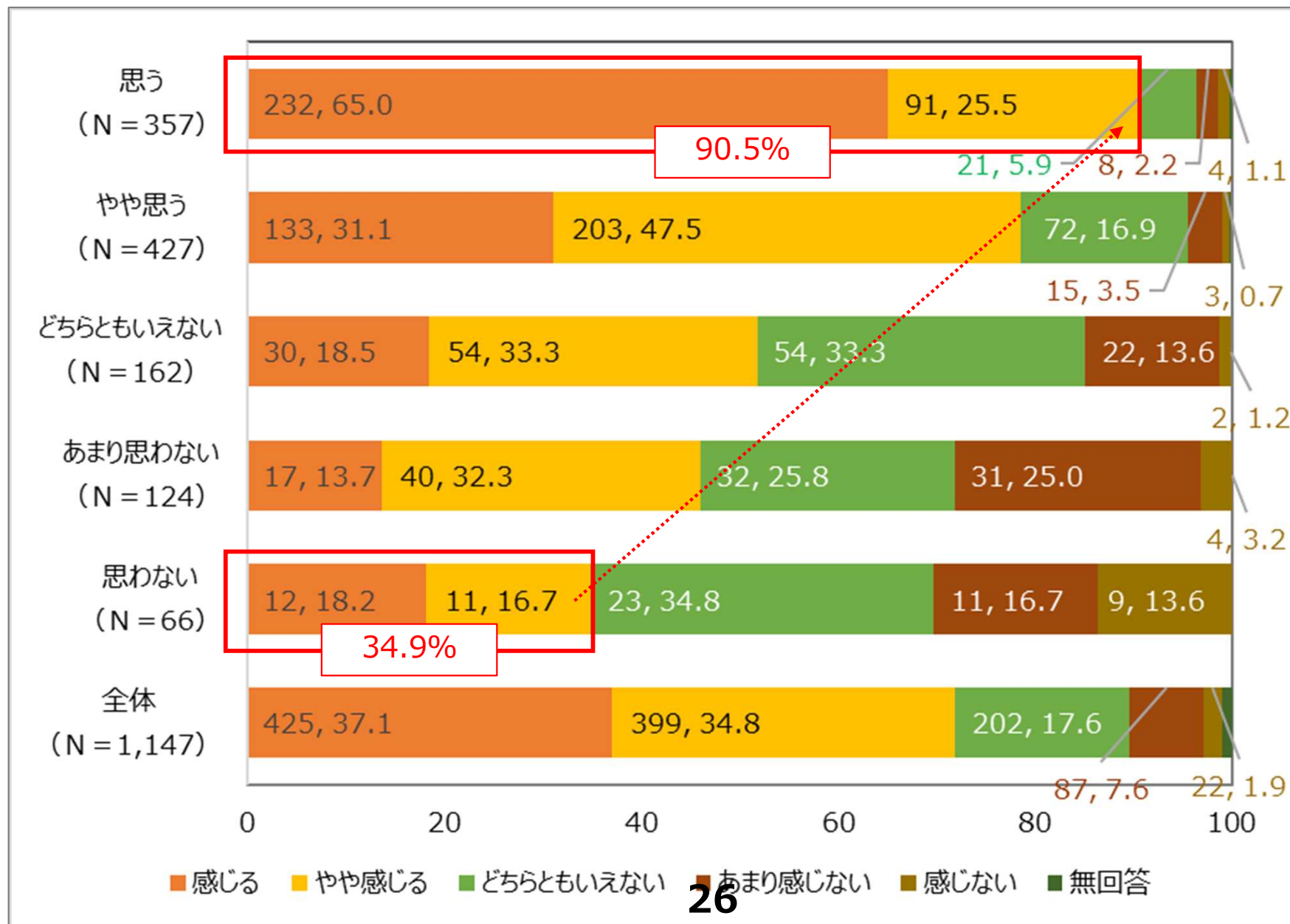


市民意識調査結果について

③健康と思うか×「幸せ」だと感じるか

健康だと思う人ほど「幸せ」だと感じる割合が高い

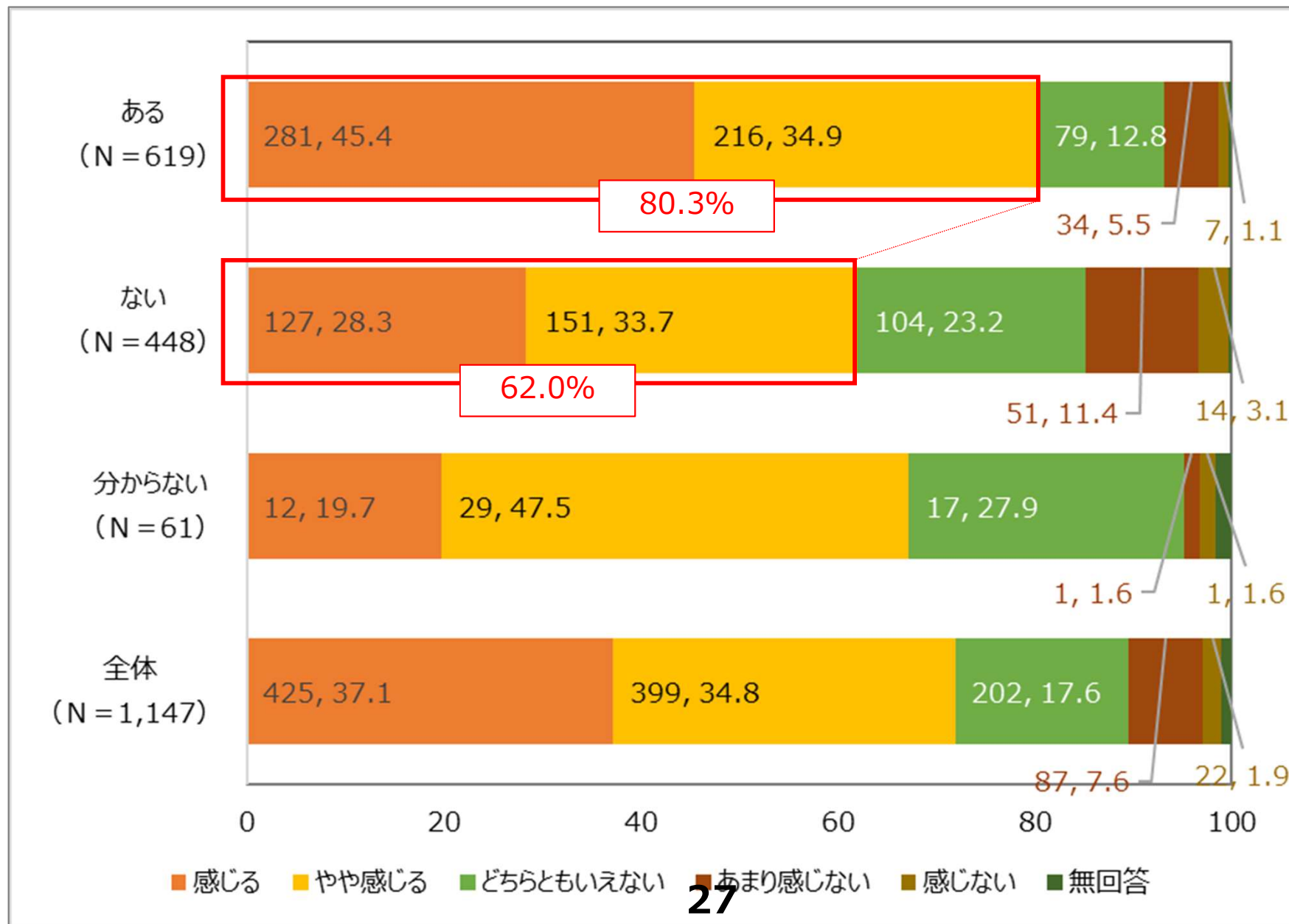
(グラフ内数値の単位)
前：件数
後：%



市民意識調査結果について

③① 仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあるか×「幸せ」だと感じるか
 コミュニティに所属する人の方が「幸せ」だと感じる割合が高い

(グラフ内数値の単位)
 前：件数
 後：%



市民意識調査結果について

③ 経済的に余裕のある生活を送れているか×「幸せ」だと感じるか
 送れてると思う人ほど「幸せ」だと感じる割合が高い

(グラフ内数値の単位)
 前：件数
 後：%

